所属名称:町民生活課				[単位:千円
会計−款−項−目−事業名称	最終予算現額	決算額	ページ	備考
町民生活課				
2.総務費				
1.総務管理費				
12.諸費				
消費者対策	820	790	7-1	
3.戸籍住民登録費		, , , ,		
1.戸籍住民登録費				
個人番号交付事務	3,886	3,522	7-2	
戸籍住民登録事務	20,842	20,818	7-3-4	
	20,042	20,616	7-3-4	
3.民生費				
1.社会福祉費				
1.社会福祉総務費				
国保財政基盤強化対策繰出金	159,087	157,388	7-5	
2.社会福祉事業費				
定住外国人に対する支援事業	56	43	7-6	
5.国民年金事務費				
国民年金·敬老福祉年金事務	2,051	2,050	フーフ	
7.特別医療費助成事業費				
特別医療費助成事業	126,862	125,501	7-8	
8.心身障がい者医療費	. 20,002	0,501		
心身障がい者医療費	4,743	4,425	7-9	
	4,740	4,423	, 9	
	17 5/0	16.004	7_10	
自立支援医療事業	17,543	16,894	7-10	
腎臓機能障がい者交通費助成事業	1,188	975	7-11	
12.後期高齢者医療費				
後期高齢者医療事務	333,757	333,537	7-12	
4.衛生費				
1.保健衛生費				
1.保健衛生総務費				
浄化槽法事務	54	35	7-13	
2.予防費				
未熟児養育医療費給付事業	121	0	7-14	
4.環境衛生費				
家庭用発電設備等設置事業	1,020	870	7-15	
環境保全	1,087	1,015	7-16	
高場管理 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	12,330	12,176	7-17	
省エネルギー対策事業	982	982	7-18	
電気自動車急速充電器設置事業	761	737	7-19	
動物愛護	360	256	7-20	
2.清掃費				
1.じん芥処理費				
ごみ減量対策	2,940	2,509	7-21	
じん芥処理	160,637	156,949	7-22	
公共水域環境保全事業	2,404	2,327	7-23	
不法投棄廃棄物処理事業	339	298	7-24	
2.し尿処理費				
し尿処理対策	27,552	27,492	7-25	
12.諸支出金	27,002	,		
1.諸費				
1.国県支出金返納金				
	1,013	1,012	7-26	
国宗巡祔立 国民健康保険特別会計(事業勘定)	1,013	1,012	,-26	
	00.001	00.000	7 00	
1.総務費	22,921	22,622	7-30	
2.保険給付費		1,604,720	7-27-28	
3.後期高齢者支援金等	245,082	245,081	7-30	
4.前期高齢者納付金等	919	918	7-30	
5.老人保健拠出金	7	6	7-30	
6.介護納付金	90,705	90,704	7-30	
7.共同事業拠出金	542,320	535,713	7-30	
8.保健事業費	13,918	12,757	7-29	
0.体性手手官		31,833	7-30	
	32 260			
9.諸支出金	32,260			
9.諸支出金 10.基金積立金	1	0	7-30	
9.諸支出金 10.基金積立金 11.公債費				
9.諸支出金 10.基金積立金	1	0	7-30	

			177	-		<u>- 7 7777 </u>	<u>' </u>				
事業番号	723	事	集名	消費者対	策			会計区分		一般会計	
担当課	町民生活	課			担当係	生活年金	係	事業区分	□新規	見	■継続
予算区分	款	2	総務	費	項	1 総務	管理費		目 12	諸費	
在		最終予算額 決算額				事業	貴財源内訳	(千円)			備考
年度		(千	円)	(千円)	国庫支出金	県支出金	その他収入	起債	一般財源	(その)他収入の内訳)
平成2	9年度		820	790	0	60	0	C	730		
平成29年度(明許)											
経費の)内訳	3.7	ふるさと広域連合負担金(消費者対策)730千円、その他60千円								
活動項目		単位			:7(実績)	28(実統	責) 2	9(実績)	30(計画	画)	31(計画)
				標							
				績							
			達原	戊率 #	!DIV/0!	#DIV/	0! #	DIV/0!	#DIV/	0!	#DIV/0!
+ ***1#	*****										

事業対象 町民全体

事業目的

消費者と事業者との間の情報の質と量、交渉力の格差がある中で、啓発活動、相談業務を通して、町民の消費生活の安定と向上を図ります。

- ① 消費者被害の未然防止のため、以下のとおり啓発活動を実施しました。
 - ・ホームページでの掲載及び臨時放送・定時放送

臨時放送	定時放送
3回	4回

ホームページは放送の度に更新

出前講座の実施

団体名	啓発人数
西町敬老会	15人

赤碕地区公民館祭での啓発チラシ及び啓発グッズの配布

イベント名	実施場所	啓発人数
公民館祭(赤碕地区)	公民館·小学校	405人

広報誌への事例及び対処法の掲載

事業の 主な 実施状況 掲載回数 4回



- ・知っ得ニュース(啓発チラシ)を2ヶ月毎に発行し、高齢者宅への配布および各地区公民館等へ配置
- ② 中部消費生活センターの消費生活相談員と連携し、窓口または電話での相談受付を行いました。

窓口相談	受付件数	電話相談受付件数	合計	
巡回相談日(月2回)	巡回相談日以外	电动作談文的计数		
6件	25件	51件	82件	

③ 平成29年に琴浦大山警察署管内で発生した特殊詐欺被害状況は次のとおりです。

1774年9 11年771117 4日日7	
琴浦大山警察署管内	琴浦町
200千円/2件	200千円/2件

*2件とも琴浦町民が被害に遭っています。

【前年度課題の概要】

① 町民に対して、多様化・複雑化している消費者トラブルへの対処法の周知が必要です。

【成果及び前年度課題に対する対応】

成果と 課題

- ① 消費者被害の未然防止のため、町内放送やホームページ・広報誌を活用し啓発活動を行いました。
- ② 相談受付件数も12%延びており(平成28年度:72件)、相談窓口周知の一定の効果がありました。

【次年度に向けての課題】

① 消費生活相談員を活用した出前講座の実施件数が少ない。多くの町民が消費者被害の実態を知り、対処法を学んでもらうため、出前講座の利用を促進する必要があります。

所管	評価 項目	必要性	妥当性	公平性	有効性	効率性	先駆性 独創性	妥当性	住民ニーズ、事業の必要性は。 行政必須か、委託の可能性は。 受益者の偏りはないか。	10,7,3,0 10,7,3,0 5,3,1,0
課の	評価 点	10	3	3	3	3	1		目標数値は達成できたか。 コスト・人員効率はどうか。 他の見本となりえるか。	5,3,1,0 5,3,1,0 5,3,1,0
評価	合計	23	総合 評価	В		雑化してい 続すべき事			未然防止 A:事業拡充 B:現 C:内容の見直しる D:縮小・終期設定	スは委託の検討

事業番号 1324 事業名 個人番号カード交付事業 事業区分 □新規 ■継続 担当課 町民生活課 担当係 戸籍係 □ <th></th>						
予算区分 款 2 総務費 項 3 戸籍住民登録費 目 1 戸籍住民登録引	弗					
是数字質類 油質類 事業費財源内訳(千円) 供去	弗					
最終予質額 決質額 事業費財源内訳 (千円)	負					
年度 取於了异館						
(千円) (千円) 国庫支出金 県支出金 その他収入 起債 一般財源 (その他収入の内	内訳)					
平成29年度 2,476 2,129 746 0 0 0 1,383						
平成29年度(明許) 1,410 1,393 1,393 0 0 0 0						
養費の内訳 賃金1779千円、消耗品費25千円、通信運搬費158千円、委託料167千円 (明許) 委託料 1393千円						
活動項目 単位 年度 27(実績) 28(実績) 29(実績) 30(計画) 31(計画	画)					
目標 1000						
個人番号カード交付 枚 実績 1429 556						
達成率 #DIV/0! #DIV/0! 56% #DIV/0! #DIV/	/0!					
目標						
実績	/OI					

事業対象 全町民

個人番号カードの普及率の向上により、コンビニでの交付が増え、窓口における住民サービスの向上を図 事業目的 ります。

個人番号カード交付枚数

年度	枚数	交付率	人口(3月末)
27	923	5.11%	18,055
28	1,429	8.00%	17,870
29	556	3.15%	17,653
計	2,908	16.28%	17,859

コンビニ交付証明書取得件数(平成29年度)

事業の 主な 実施状況

> 成果と 課題

	1011311201	1 ///
住民票	72	件
印鑑証明書	82	件
所得証明書	11	件
課税証明書	11	件
戸籍謄本	10	件
戸籍抄本	4	件
戸籍の附票	2	件
合計	192	件

【前年度課題の概要】

①個人番号カード作成が増えるような広報の仕方を考える必要があります。

【成果及び前年度課題に対する対応】

- ①コンビニ交付をされた方は、便利であるとの感想がありました。
- ②コンビニ交付件数を増やすために手数料の減額を行いました。
- ③事業所への啓発が上手くできなかったです。

【次年度に向けての課題】

- ①コンビニでの交付を増やすため若い方のカードの普及を図る必要があります。
- ②カード作成のための工夫を増やしていくことが必要です。

所管	評価 項目	必要性	妥当性	公平性	有効性	効率性	先駆性 独創性	妥当性 公平性	住民ニーズ、事業 行政必須か、委託 受益者の偏りはな	氏の可能性は。 ないか。	10,7,3,0 10,7,3,0 5,3,1,0
課 の	評価点	7	10	5	3	3	1		目標数値は達成 コスト・人員効率 他の見本となりえ	はどうか。	5,3,1,0 5,3,1,0 5,3,1,0
評 価	合計 点	29	総合 評価	В	今後、個人	【番号カー	・の必要性	が増えてく	るため。	A:事業拡充 B:現 C:内容の見直しる D:縮小・終期設定	スは委託の検討

7 - 2

平成 29 在度惠業成里説昭聿兼評価聿

		八人	23	十尺于	<u> 木炒木</u>	ᇞᇬᇹ	不可叫了	=	
事業番号 58	事業	名 戸	籍住民:	登録事務			事業区分	□新規	見 ■継続
担 当 課 町民生活	課			担当係	戸籍係				
予算区分 款	2 #	総務費		項	3 戸籍	住民登録	費 E	1	戸籍住民登録費
年度	最終予	算額 🥻	學額		事業	費財源内訳(千円)		備考
平 及	(千円]) (千円)	国庫支出金	県支出金	その他収入	起債	一般財源	(その他収入の内訳)
平成29年度	20,	842	20,818	204	44	0	0 20,5		
平成29年度(明許)									
経費の内訳				刷製本費: 借上料3,7			39千円、委 千円	託料:3,49	9千円、
活動項目	単位	年度	2	28(実績)		<u>2</u>	9(実績)	30(計画	回) 31(計画)
		目標							
	件	実績							
		達成率	#	DIV/0!	#DIV/	0! #	:DIV/0!	#DIV/0	0! #DIV/0!
		目標							
		実績		DI\	#DN / //) <u>"</u>	DI\	#DN / //	01 #DT\//01
		達成率	#	DIV/0!	#DIV/	J! #	:DIV/0!	#DIV/0	0! #DIV/0!

事業対象 全町民

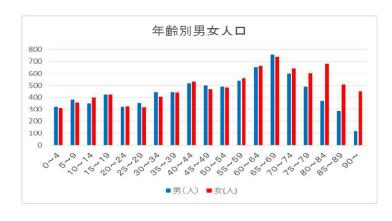
住民の住民票及び戸籍を適切に登録、管理します。 事業目的 証明書等を適切に発行し、住民サービスの向上を図ります。

(1)住民基本台帳人口及び世帯数(平成30年3月31日現在)

住民基本台帳人口は、17,653人、前年と比較し217人減少しましたが、世帯数6,462世帯で、 4世帯の増でありました。なお、それぞれの状況は下記のとおりであります。

		人口(人)
男	女	計
8,345	9,308	17,653

(2)住民基本台帳人口構成(年齡階層別人口)(平成30年3月31日現在)



事業の 主な 実施状況

(3)住民基本台帳関係事務処理件数(平成29年4月1日~平成30年3月31日)

種別(A)	人数	種別(B)	人数	種別	件数
転入者	429	転出者	454	転居者	335
出生者	116	死亡者	270	世帯変更	535
その他	7	その他	13	職権修正	354
計(A)	552	計(B)	737	違反通知	0
増	減数(A一I	В)	-185	戸籍の附票	3,522
-				計	4,746

(4)印鑑登録関係件数(平成30年3月31日現在) (5)外国人登録者数(平成30年3月31日現在)

登録	廃止	年度末登録者数
536	782	12,733

国籍名	人数	国籍名	人数	国籍名	人数
韓国·朝鮮	33	フィリピン	13	ベトナム	75
中国	11	インドネシブ	2	台湾	4
アメリカ	9	タイ	1	ネパール	1
モンゴル	2	ブラジル	1	ドイツ	1

合計 153

(6)本籍数及び本籍人口(平成30年3月31日現在)

前年と比較して、本籍数は97戸籍減少し、本籍人口は268人減少しました。

本籍数	10,811戸	本籍人口	12,467人

(7)戸籍届出書の取扱い件数(平成29年4月1日~平成30年3月31日)

事件の種類	件数	事件の種類					
出生	219	入籍					
死亡	345	分籍					
国籍留保	0	帰化					
認知	4	氏名の変更					
養子縁組	26	転籍					
養子離緣	8	戸籍訂	正	22			
婚姻	250	その他					
離婚	54	離婚の際に称しいた姓を称する届					
不受理申出	5	合計件数 1,088					

(8) 戸籍・住民票等取扱い件数及び手数料(平成29年4月1日~平成30年3月31日)

事業の 主な 実施状況

区分		件数	金額(円)	
运 力	有料	無料(公用)	並領(口)	
戸籍謄本	2,551	1,366	1,147,950	
戸籍抄本	1,149	33	517,050	
除籍•原戸籍謄本	2,982	2,164	2,236,500	
除籍•原戸籍抄本	28	0	21,000	
婚姻受理証明書	1	0	1,400	
受理証明·届書写	22	0	7,750	
小計	6,733	3,563	3,931,650	
住民票	7,296	386	2,188,800	
戸籍の附票	452	1,265	135,600	
印鑑登録証明書	5,014	48	1,504,200	
印鑑登録	536	0	160,800	
税証明他	5,420	27	1,767,850	
臨時運行許可書	196	0	147,000	
個人番号カード再発行手数料	7	0	5,600	
個人番号カード再発行手数料 (認証あり)	6	0	6,000	
通知カード再発行手数料	69	0	34,500	
小計	278	1,726	5,950,350	
合計	7,011	5,289	9,882,000	

【前年度課題の概要】

・コンビニでの証明書取得に必要なマイナンバーカードの普及を図る必要があります。

【成果及び前年度課題に対する対応】

成果と 課題

- ・本庁舎だけでなく、分庁舎でも、月4回マイナンバーカードの申請受付を行いました。
- ・マイナンバーカード申請の利便性向上の為、オンライン申請の補助を実施しました。

【次年度に向けての課題】

・窓口交付より便利なコンビニ交付を更に推進してく必要があります。

所管	評価 項目	必要性	妥当性	公平性	有効性	効率性	先駆性 独創性	妥当性	住民ニーズ、事業の必要性は。 行政必須か、委託の可能性は。 受益者の偏りはないか。	10,7,3,0 10,7,3,0 5,3,1,0
課の	評価点	7	3	5	3	3	3		目標数値は達成できたか。 コスト・人員効率はどうか。 他の見本となりえるか。	5,3,1,0 5,3,1,0 5,3,1,0
評価	合計 点	24	総合 評価	В		を迅速・確認 まだと考える		とが、町民の	の利益に A:事業拡充B:現場 C:内容の見直し、D:縮小・終期設定	スは委託の検討

			774			1 1/2 1			1 H 2 D 3								
事業番号	651	事	業名	国保財					会計区	区分			一般会計				
担当課	町民生活	課				担当係	保険	系			事業区	分	□新規		見	■継絲	売
予算区分	款	3	3 民生費			項	1	社会	福祉費				1		社会福祉総務費		費
左	年度 最終予算額 決算額						事業費	貴財源内訓	₹ ((千円)					備考		
#	反	(千円) (干		(千円)		国庫支出金	県支	出金	その他収	八	起債		一般	財源	(そ)	の他収入の内	勺訳)
平成2	9年度	15	9,087	157,3	38	18,980	56	,720		0		0	81,688				
平成29年	度(明許)																
経費の	の内訳	繰出	出金	157,388	f P	9											
活動	項目	単位		度	27	(実績)	28(実績)		長)	29(実績)		30(計画)		1)	31(計画	画)	
				標													
				:績													
				戊率	#D	OIV/0!	#[OIV/	0!	#	DIV/0!		#	DIV/)!	#DIV/	0!
				標													
				:績													
達成率					#D	#DIV/0! #DIV/0!			#DIV/0! #DIV/		DIV/	0! #DIV/0!					
± ** 1		- /- 12	\	n^ +/													

事業対象 国民健康保険被保険者

事業目的 国民健康保険事業事務の円滑な運営を図ります。

① 国民健康保険特別会計に対し、次のとおり繰出を行いました。

(単位:千円)

事業の 主な 実施状況

名称	内容	繰出額
出産育児一時金	出産育児一時金に係る費用の2/3を繰出しました。 H29実績 42万円×10件×2/3=280万円	2,800
11 般 字 宁	【保険税軽減分】保険税の法定軽減(2割・5割・7割)を行った分を繰出しました(県3/4負担)。	63,189
基盤安定	【保険者支援分】保険税の負担緩和と財政安定化のための繰出しを行いました(国1/2、県1/4負担)。	37,314
財政安定化支援	保険者の責に帰することができない特別事情について普通 交付税として交付を受け、国保会計へ繰出しました。	26,825
職員給与等	国保担当職員の給与や国保連合会へ支払う各種手数料等の一般管理費、国保運営協議会にかかる費用等を繰出しました。	22,622
その他(法定外)	地方単独事業(特別医療)に係る国庫負担の減額分を繰出しました。	4,638

【前年度課題の概要】

① 国保財政の厳しさは依然として変わりませんが、一般会計の財政状況も厳しいことから、法定外繰出による保険税収の補填は困難です。また、国・県の方針も保険税補填目的の法定外繰出は控えることとされています。

【成果及び前年度課題に対する対応】

成果と 課題 ① 平成28年度に保険税率を改正したことにより、今年度の法定外繰出は最小限に留めました。

【次年度に向けての課題】

① 今後も町財政が厳しさを増していくことが予想されることから、法定外繰出に対しては慎重な姿勢で対応を検討していきます。

所管	評価 項目	必要性	妥当性	公平性	有効性	効率性	先駆性 独創性		行政必須か、委	E民ニーズ、事業の必要性は。 「政必須か、委託の可能性は。 ☑ 益者の偏りはないか。		
課の	評価点	7	10	1	3	3	0	効率性	コスト・人員効率	目標数値は達成できたか。 コスト・人員効率はどうか。 他の見本となりえるか。		
評価	合計	24	総合 評価	В	主に法定維持としま		に基づいた	-繰出のた。	め、現状	A:事業拡充 B:現 C:内容の見直しる D:縮小・終期設定	スは委託の検討	

			- 八人	Ž	•	十尺子	* 木 /火 木	ミロルツ		<u> </u>			
事業番号	1103	事美	Ě名	定住统	大国,	人に対する	支援事業			会計区分		_	般
担当課	町民生活	課				担当係	戸籍係			事業区分	□新規	見	■継続
予算区分	款	3	民生	費		項	1 社会	福祉費	ŧ		∄ 2	社会	福祉事業費
左		最終了	7算額	決算	額		事業領	貴財源内	訳(千円)			備考
+	反	(千	円)	(千F	円)	国庫支出金	県支出金 その		也収入 起債		一般財源	(そ)	の他収入の内訳)
平成2	平成29年度		56		43	0	0		0	0	43		
平成29年	平成29年度(明許)												
経費の				千円	消耗	£品費 25=	千円						
活動	項目	単位	年	度	2	7(実績)	28(実績)		2	9(実績)	30(計画	回)	31(計画)
アンケート	における			標									
満足度調査		%		績					79				
7-7-2-2-7-3	, i		達原		#	DIV/0!	#DIV/	0!	#	DIV/0!	#DIV/	0!	#DIV/0!
				標									
		実											
	道		達原	戊率	#	DIV/0!	#DIV/	0!	#	DIV/0!	#DIV/	0!	#DIV/0!

事業対象町内在住の外国出身者とその家族

事業目的

町内に在住する外国人の生活の安定と向上を図りながら、日々の暮らしにくさの解消のための支援を 行います。

【在住外国人交流のつどい】

町内めぐりをしながら日本の文化に触れてもらい、琴浦町の生活情報を提供するとともに、 琴浦町をより知ってもらい、外国人にとって住みよい町になるための意見交換の場を設けます。



・在住外国人交流のつどい

平成29年10月15日(日) 旧以西小学校体育館でレクリエーション 参加者 大人15名 子ども3名

【在住外国人交流広場】

どのようなことでも気軽に相談できる場所を定期的に設ける。相談だけでなく交流を重ねることで、 参加者同士の交流がより深まります。主な対象者は、町内長期滞在の外国出身者。

- ① 平成29年12月17日(日) 餅つき 参加者 大人7人
- ② 平成30年2月25日(日) ストレッチ体操 参加者 大人8人



【前年度課題の概要】

マイナンバーの勉強会など、日本で生活していく援助を行う事業から、交流が目的の事業へと変化しつつある。このまま事業を行うのであれば、外国人のみの交流ではなく日本人との交流を視野に入れ、企画等を行っていく必要があります。

【成果及び前年度課題に対する対応】

成果と 課題 在住外国人同士で連絡を取り合うようになってきており、事業以外でも交流が活発に行われています。 定期的に集まる機会があり、相談をしやすい環境ができています。

【次年度に向けての課題】

アンケートでは特に困りごとはないなど、外国人同士で些細なことでも相談ができていると考えらます。 事業の目的の変化が見受けられたこともあり、事業継続の必要性の有無を検討していきます。

所管	評価 項目	必要性	妥当性	公平性	有効性	効率性	先駆性 独創性	妥当性 公平性	住民ニーズ、事業の 行政必須か、委託の 受益者の偏りはない	可能性は。	10,7,3,0 10,7,3,0 5,3,1,0
課の	評価点	7	3	1	3	3	3	効率性	目標数値は達成でき コスト・人員効率はと 他の見本となりえるが	ごうか 。	5,3,1,0 5,3,1,0 5,3,1,0
評価	合計 点	20	総合 評価	С		「暮らしや」 を検討し		うくりのたと	C:I	事業拡充 B:現 内容の見直し又 縮小・終期設定	は委託の検討

			774					, , , , , , , , , , , , , , , , , , , 	711	_				
事業番号	81		業名	国民年金	・老齢福祉	止年金	事務		会計	区分			一般	会計
担当課	町民生活	課			担当係	生活	年金	系	事業	区分		コ新規	見	■継続
予算区分	款	3	民生	費	項	1	社会	福祉費		E	3	5	国民	年金事務費
年	度	最終	予算額	決算額			事業費	貴財源内訳	(千円)					備考
+	泛	(千	円)	(千円)	国庫支出金	県支出金		その他収入	起	起債		財源	(そ)	の他収入の内訳)
平成2	,			2,050	1,197		0	0		0		853		
平成29年	度(明許)	許)												
経費の	経費の内訳 賃金1,806千円、					円								
活動	項目	単位	年	度	27(実績)	[2	29(実績)			0(計画	1)	31(計画)		
				標										
				績										
					#DIV/0!	#	DIV/	0! #	DIV/)!	#	:DIV/	0!	#DIV/0!
			目標											
実績														
達成率				戊率 ====================================	#DIV/0!	DIV/0! #DIV/0! #DIV/0!)!	#DIV/0! #DIV/0!			#DIV/0!
+**14		\ _	+/	•									<u> </u>	

事業対象 国民年金加入者

事業目的 町民が老齢、障がい、家族の死亡によって、生活の安定が損なわれることのないよう、年金制度によって生活の維持及び向上を図ることを目的とします。

① 町民からの各種届出書について以下のとおり、受付および処理を行いました。

(単位:件)

事業の 主な 実施状況

資格取得届	415
納付免除・猶予申請書	524
学生納付特例申請書	116
未支給請求書	79
老齢裁定請求書	4
障害基礎年金請求書	5
氏名変更	18
住所変更	259
口座振替申出書	37
合計	1,457
-	

【前年度課題の概要】

(1) 日本年金機構と連携し、未加入者や未納者の発生を抑制する必要があります。

【成果及び前年度課題に対する対応】

成果と 課題

- ① 口座振替、クレジット支払いの促進パンフレットを窓口に配置しました。
- ② 広報誌で、国民年金の加入および口座振替の推進について掲載しました。

【次年度に向けての課題】

① 国民年金の未加入者や未納者を抑制するため、適切な制度説明および制度案内が必要です。

所管	評価 項目	必要性	妥当性	公平性	有効性	効率性	先駆性 独創性	妥当性 公平性	住民ニーズ、事業 行政必須か、委託 受益者の偏りは7	氏の可能性は。 ないか。	10,7,3,0 10,7,3,0 5,3,1,0
課の	評価点	7	7	3	3	3	1	効率性	目標数値は達成 コスト・人員効率 他の見本となりえ	はどうか。	5,3,1,0 5,3,1,0 5,3,1,0
評価	合計 点	24	総合 評価	В	法律に基づ	づいた事業	のため、現	状維持とし	しました。	A:事業拡充 B:現 C:内容の見直しる D:縮小・終期設定	スは委託の検討

事業番号	85	事	業名	特別医	療	費助成事業	ŧ				会計区	[分			一般	会計
担当課	町民生活	課				担当係	保険				事業区	分	[コ新規	見	■継続
予算区分	款	3	民生	費		項	1	社会	福祉費			E	1	7	特別	医療費
年	r i	最終音	予算額	決算額	į			事業費	貴財源内部) 5	さ (千円)					備考
+	泛	(千	円)	(千円		国庫支出金	車支出金 県支出金 その他収力			入	起債		一般財源		(そ)	の他収入の内訳)
平成2	平成29年度 126,862				01	0	55	5,401	15,5	99		0	5	4,501		療養戻入金 99千円
平成29年	平成29年度(明許)															
経費の	の内訳	扶耳	助費	122,118	千	円 役務	費 3,3	383 T	円							
活動	項目	単位	年	度	2	7(実績)	28(実績)			29(実績)			30(計画		画)	31(計画)
				標												
				:績												
	達成率					DIV/0!	#1	DIV/(0!	#1	DIV/0!		#	DIV/	0!	#DIV/0!
		目標														
実績															#5.5 / /OI	
達成率				#	DIV/0!	#	DIV/()!	#	DIV/0!		#	DIV/	0!	#DIV/0!	
東紫社会 特別医療系統学																

事業対象 特別医療受給者

事業目的 医療費助成を行うことにより、対象者の健康の保持・生活の安定を図ります。また、子育て家庭の医療費にかかる経済負担を軽減し、子育て支援を行います。

① 健康保険法上の医療費の自己負担額から、一定の自己負担分を除いた分の医療費助成を行いました。

事業の 主な 実施状況

種別	受給資格	受給者数 (人)	レセプト件数 (件)	給付費 (円)
身障	身体障害者手帳1・2級所持者	383	10,453	57,739,445
重度	療育手帳A所持者または療育手帳B と身体障害者手帳3・4級所持者	26	775	3,104,656
精神	精神障害者保健福祉手帳1級所持者	21	492	4,524,183
特定疾病	小児慢性特定疾病にかかっている20歳 未満の者(一部疾病は20歳以上も対象)	3	52	325,242
ひとり親	18歳の年度末に達するまでの者を 扶養しているひとり親家庭の者(所 得税非課税世帯)	95	1,363	3,331,352
小児	18歳の年度末までの者	2,776	31,846	53,093,555
合計		3,304	44,981	122,118,433

【前年度課題の概要】

① 条例に基づいた事業であり大きな課題はありませんが、引き続き適切な事業実施に努めてい く必要があります。

【成果及び前年度課題に対する対応】

① 医療費を助成することで対象者の健康保持と子育て支援に寄与しました。

【次年度に向けての課題】

成果と 課題

① 身障、重度、精神の対象者で国保に加入している65歳~74歳の人のうち、後期高齢者医療制度へ加入することで国保と比較して保険料負担が軽くなる人に対して、後期高齢者医療制度への移行の勧奨を行います。

後期高齢者医療へ移行していただくことで本人の保険料負担が軽くなるだけでなく、特別医療にかかる町負担も減らすことができます(国民健康保険で自己負担が3割(又は2割)だった人が後期高齢者医療制度に移行することで自己負担が1割になり、特別医療で助成する部分が少なくなります)。

また、健康保険法上の負担割合の変遷や個人の医療費や所得状況が変化している中で、特別医療の自己負担額は平成20年を最後に変更がないため、医療給付の適正化の観点から、 鳥取県や県内市町村に対して機会をみて提案していく必要があります。

所管	評価 項目	必要性	妥当性	公平性	有効性	効率性	先駆性 独創性	妥当性	住民ニーズ、事業 行政必須か、委託 受益者の偏りはな	氏の可能性は。	10,7,3,0 10,7,3,0 5,3,1,0
課の	評価 点	7	7	3	3	3	1		目標数値は達成 コスト・人員効率! 他の見本となりえ	はどうか。	5,3,1,0 5,3,1,0 5,3,1,0
評価	合計	24	総合 評価	В	特に医療(子育て支持	の必要な人 _爰 のため継				A:事業拡充 B:現 C:内容の見直しる D:縮小・終期設定	スは委託の検討

			177	-		<u> </u>		AL H		
事業番号	572	事	業名	心身障が	い者医療費	į		会計区分		一般会計
担当課	町民生活	課			担当係	保険係		事業区分	□新規	見 ■継続
予算区分	款	3	民生	費	項	1 社会	福祉費		8	心身障がい者医療費
年	·	最終音	予算額	決算額		事業費	貴財源内訳	(千円)		備考
+	泛	(千	円)	(千円)	国庫支出金	県支出金その他収入		起債	一般財源	(その他収入の内訳)
平成2	9年度		4,743	4,42	0	0	78	0	4,347	心身障がい者医療 費返納金78千円
平成29年	度(明許)									
経費の	の内訳	扶	助費	4,425千円	1					
活動	項目	単位			27(実績)	28(実績	<u>2</u>	9(実績)	30(計画	画) 31(計画)
				標						
				:績						
					#DIV/0!	#DIV/	0! #	:DIV/0!	#DIV/	0! #DIV/0!
				標						
				績						
			į		#DIV/0!	#DIV/		:DIV/0!	#DIV/	· · ·
事業対象				4級またに 入者は除		または精神	申障害者手	・帳2級でる	卜人非課税	かつ滞納のない者

事業目的

障がいが原因となり、経済的な負担が多く医療機関への受診が遠のき健康の保持が困難な場合もある ことから、心身に障がいのある人、その他特に医療を必要とする人に対して医療費助成をすることで、疾 病の重度化を防ぎ、健康の保持及び生活の安定を図ります。

下記のとおり、対象者に対し保険適用医療費の一部負担金について半額を助成しました。

種別	人数(人)	助成額(円)
身障3・4級	33	1,820,253
療育B	13	482,077
精神2級	52	2,122,992
合計	98	4,425,322

事業の 主な 実施状況

【前年度課題の概要】

- 高齢受給者(70~74歳)に対しても助成を行うことで、後期高齢者医療加入者(主に75歳以上)との 医療費の自己負担割合がアンバランスになっています。
- 他の公費負担医療制度の対象となる医療費に対し、上乗せして助成しています。

【成果及び前年度課題に対する対応】

成果と 課題

上記①②の課題を解決するため平成30年3月に条例の一部改正を行いました。平成30年7月診療 分より助成の対象者から高齢受給者を除き、公費負担医療の対象となる医療費は助成の対象外と しました。

【次年度に向けての課題】

- 制度改正により本事業の対象外となられる人のうち、障害認定により後期高齢者医療(医療費の 自己負担が1割)へ加入できる人に対しては、後期高齢者医療への移行を案内し、負担の軽減に努 めます。
- 今後も適切な給付が行なわれるよう努めていきます。

所管	評価 項目	必要性	妥当性	公平性	有効性	効率性	先駆性 独創性		住民ニーズ、事業の必要性は。 行政必須か、委託の可能性は。 受益者の偏りはないか。	10,7,3,0 10,7,3,0 5,3,1,0
課の	評価 点	7	7	1	3	3	1	効率性	目標数値は達成できたか。 コスト・人員効率はどうか。 他の見本となりえるか。	5,3,1,0 5,3,1,0 5,3,1,0
評価	合計点	22	総合 評価	В	他市町村にとして定着し			給者の生活。 推持としましまし		スは委託の検討

事業番号 1252	事業名	自立支	援医	療事業				会計	区分			一般	会計
担当課 町民生活	·課			担当係	保険係			事業	区分		コ新規	見	■継続
予算区分 款	3 民:	生費		項	1 社	会福	祉費		Ш	1	9	障がは	ハ者福祉費
年度	最終予算	領 決算額	Į		事	業費財	源内訳(千円)					備考
千尺	(千円)	(千円	国	庫支出金	県支出	金そ	の他収入	起	債	一般	財源	(その)他収入の内訳)
平成29年度	17,54	7,543 16,894		10,607	4,1	80	96		0	:	2,011	更正! 千円	医療返還金96
平成29年度(明許)													
経費の内訳	扶助費	: 119千F	3	更正医療	給付費	16,7	00千円	その	の他	75千	円		
活動項目	単位	年度	27(実績)	28(実績)		2	9(実績	(30)(計画	<u> </u>	31(計画)
		目標											
		実績											
		成率	#DI	IV/0!	#DI	V/0!	#	DIV/)!	#DIV/		0!	#DIV/0!
	目標												
		夫根 【成率	#DI	IV/0!	#DI	V/0!	#	DIV/)!	#	DIV/	0!	#DIV/0!
- *													

事業対象 | 自立支援医療に位置づけられている医療である育成医療及び更生医療に該当する医療を受ける者。

事業目的 | 目:

自立支援医療に位置づけられている育成医療及び更生医療により、障がいの軽減・除去や機能回復のために受けられた医療にかかる費用を公費負担することで、経済的な負担を軽減します。

① 健康保険法上の医療費の自己負担額から所得等に基づく自己負担分を除いた分を自立支援医療費として支給しました。

【育成医療】 治療により将来的に治癒効果が見込める疾患を有する児童を対象に支給を行いました。

○育成医療給付費 119,093円

事業の 主な 実施状況

種別	実人数(人)	レセプト件数(件)	給付費(円)
音声・言語・そしゃく 機能障害	3	13	119,093

【更正医療】治療により身体機能の改善、維持が見込まれる、18歳以上の身体障害者手帳所持者を対象に支給を行いました。

〇更正医療給付費 16,699,561円

種別	実人数(人)	レセプト件数(件)	給付費(円)
心臓機能障害	9	13	230,358
腎臓機能障害	64	1,418	8,820,645
腎臓機能障害 (生活保護)	2	42	7,648,558

【前年度課題の概要】

① 法律に基づいた事業であり大きな課題はありませんが、常に適切な給付が行われるよう努めていく必要があります。

【成果及び前年度課題に対する対応】

① 対象者の障がいを軽減、除去、あるいは機能回復のための医療費を公費負担することで、経済的な負担を軽減しました。

成果と 課題

【次年度に向けての課題】

① 育成医療を利用するためには医師の意見書が必要となるため、手続きの煩雑さと意見書の費用負担の問題から特別医療費助成制度(県事業)が利用されることがあります。

しかし、育成医療を利用した方が町の負担も減ることに加え、対象者の負担も減る場合があることから、意見書作成にかかる費用の助成に取り組みます。

所管	評価 項目	必要性	妥当性	公平性	有効性	効率性	先駆性 独創性	妥当性	住民ニーズ、事業 行政必須か、委託 受益者の偏りは7	氏の可能性は。	10,7,3,0 10,7,3,0 5,3,1,0
課の	評価 点	10	10	1	3	3	1	有効性 効率性 先駆性・独創性	目標数値は達成 コスト・人員効率 他の見本となりえ	はどうか。	5,3,1,0 5,3,1,0 5,3,1,0
評価	合計 点	28	総合 評価	В	法律に基づ 経済的な負				士	A:事業拡充 B:現 C:内容の見直しる D:縮小・終期設定	なは委託の検討

-				***							
	事業番号	1312	事	集名	腎臓機能	障がい者交	逐通費助成	事業	会計区分		一般会計
I	担当課	町民生活	課			担当係	保険係		事業区分	□新規	見 ■継続
ſ	予算区分	款	3	民生	費	項	1 社会	福祉費		∃ 9	障がい者福祉費
	左	度	最終3	予算額	決算額		事業到	貴財源内訳((千円)		備考
l	#	泛	(千	円)	(千円)	国庫支出金	県支出金	その他収入	起債	一般財源	(その他収入の内訳)
Ī	平成2	9年度		1,188	97	5 0	0	0	0	975	
	平成29年	度(明許)									
	経費0)内訳	扶	助費	975千円						
ſ	活動	項目	単位	年	度	27(実績)	28(実績	5) 2	9(実績)	30(計画	回) 31(計画)
ſ					標						
ı					:績						
L						#DIV/0!	#DIV/	0! #	DIV/0!	#DIV/	0! #DIV/0!
ı					標						
ı					:績	//= Ti / / Ci					01 (IDD 1/6)
Ļ				達用	述率	#DIV/0!	#DIV/	0! #	DIV/0!	#DIV/	0! #DIV/0!
ш											

事業対象 自宅から医療機関までの距離が2キロ以上の人工透析療法を受ける者。

事業目的

事業の 主な 実施状況 腎臓機能に障がいを持つ人が人工透析療法を受けるため通院した場合に、自宅からの通院距離に応じて交通費を助成し、負担軽減を図ります。

① 腎臓機能に障がいを持つ人に対し、下記のとおり自宅からの通院距離に応じて交通費を助成しました。

本人非課税

通院距離	助成金額 (月額)	対象者数
2キロ以上5キロ未満	1,000	11人
5キロ以上10キロ未満	3,000	16人
10キロ以上15キロ未満	5,000	3人
15キロ以上20キロ未満	7,000	1人
20キロ以上25キロ未満	9,000	0人
25キロ以上30キロ未満	11,000	0人
30キロ以上	12,000	0人
		31人

本人課税

通院距離	助成金額 (月額)	対象者数
2キロ以上5キロ未満	1,000	2人
5キロ以上10キロ未満	1,500	2人
10キロ以上	2,000	3人
		7人

【前年度課題の概要】

① 前年度からの特に目立った課題はありませんが、引き続き効率的かつ安定的に事業実施できるよう、努めていく必要があります。

【成果及び前年度課題に対する対応】

成果と 課題 ① 人工透析患者は、治療のため週に3回程度通院する必要があるため、交通費の一部を助成することで、経済的な負担の軽減に一定の効果は発揮していると考えます。

【次年度に向けての課題】

① 重度障がい者タクシー料金助成事業と重複して助成を受けておられる方が多く、統合・整理を検討していく必要があります。

	評価						先駆性	必要性	住民ニーズ、事業	の必要性は。	10,7,3,0
所		必要性	妥当性	公平性	有効性	効率性		妥当性	行政必須か、委託	Eの可能性は。	10,7,3,0
管	項目		- '				独創性	公平性	受益者の偏りはな	いか。	5,3,1,0
課	評価							有効性	目標数値は達成で	できたか。	5,3,1,0
	_	7	7	1	3	3	1	効率性	コスト・人員効率に	まどうか。	5,3,1,0
<u>の</u>	点							先駆性·独創性	他の見本となりえ	るか。	5,3,1,0
評	合計		総合		類似する	事業との統	合∙整理を	給討してい	く 必要が	A:事業拡充 B:現	状維持
価		22		С		+ ~ C 07 11/10	п њ-те	1201000		C:内容の見直しる	
	点		評価		あります。					D:縮小·終期設定	F·休止·廢止

### 1 806			平成	29	年度 事	業成果	!説明	書	兼割	[価書	
# 東京				後期高齢							
年度							1-11-				
平成29年度 12.72 12.72 12.72 12.72 12.73	予算区分	款			項					12	
平成29年度 333.757 333.537 0 47.027 12.721 0 273.789 過年度分療養給付費協議会 1.52千円 273.789 過年度分療養給付費協議会 1.52千円 経費の内歌 負担金、補助及び交付金 261.544千円 繰出金 83.939千円 委託料 7.795千円 その他 259千円 建位 年度 27(実施) 28(実施) 29(実織) 30(計画) 31(計画) 目標 実積	年	度								40 D L 100	
接換の内訳 負担金、補助及び交付金 261.544千円 緑出金 63.939千円 委託料 7.795千円 その他 259千円 活動項目 単位 年度 27(実績) 28(実績) 29(実績) 30(計画) 31(計画)											事業費補助金 1, 千円 過年度分療養給 費返還金 5,1623
接費の内取											
	平成29年	度(明許)									5,987千円
日標 実績 達成率	経費 <i>σ</i>	內訳		補助及び	交付金 26	1,544千円	繰出金	金 6	3,939千円	委託料 7	7,795千円 その他
実績	活動:	項目			:7(実績)	28(実績	責)	29	9(実績)	30(計画	31(計画)
連成率 #DIV/0! #DIV/0											
事業対象 後期高齢者医療被保険者 接別高齢者医療被保険者 接別高齢者医療被保険者 接別高齢者医療被保険者 接別高齢者医療被保険者 接別高齢者医療制度の円滑な運用を図ります。また、被保険者の疾病の早期発見及び健康増進を図っために健診事業を行います。 1 被保険者を対象に健康診査の実施と医療機関での人間ドックの一部費用の助成を行いました。 推別 対象者数 受診者数 (人) 受診者(物) 集団健診 3,457 515 23,50% 風別健診 3,457 515 23,50% 風別健診 3,457 515 33 29 23,50% 風別健診 3,457 515 33 20 247 39 247 39 247 39 247 39 247 39 247 39 247 39 247 39 247 39 247 39 247 39 247 39 247 39 247 39 247 247 39 247 2					1DT) / /OI	#DD//	01	щ	DI) / /OI	#DN / //	N #D#\//OI
実績 達成率 #DIV/0! #					:DIV/U!	#DIV/	U!	#	DIV/U!	#DIV/(<u>):</u> #DIV/U!
達成率 #DIV/0! #DIV/0											
事業対象 後期高齢者医療補度の円滑な運用を図ります。また、被保険者の疾病の早期発見及び健康増進を図っために健診事業を行います。 ① 被保険者を対象に健康診査の実施と医療機関での人間ドックの一部費用の助成を行いました。 種別 対象者数 受診者数 (人) 受診率(物) 集団健診 3,457 515 23.50% 人間ドック 247 39 23.50% 人間ドック 247 39 39 3.457 515 23.50% 人間ドックは定員を弱の医療機関を受診している人に対して受診指導や相談を行いました。					:DIV/0!	#DIV/	0!	#	DIV/0!	#DIV/(וייין #מוע/מי
後期高齢者医療制度の円滑な運用を図ります。また、被保険者の疾病の早期発見及び健康増進を図っために健診事業を行います。 1 被保険者を対象に健康診査の実施と医療機関での人間ドックの一部費用の助成を行いました。 1 種別 対象者数 受診者数 (人) 受診率(%) 集団健診 3,457 515 23,50% 人間ドック 247 39 上で、		<i>**</i> ==== :			,				, 3.		
大めに健診事業を行います。 一次保険者を対象に健康診査の実施と医療機関での人間ドックの一部費用の助成を行いました。 種別 対象者数 受診者数 (人) 受診率(%) 集団健診 3.457 515 23.50% 1515 23.50%	争美对象	俊期局的	节 有医療被	休陝首							
			険者を対象	常に健康診						費用の助原	成を行いました。
事業の主な実施状況 ② 2ヶ月連続して同一疾病で複数の医療機関を受診している人に対して受診指導や相談を行いました。訪問指導実施人数:19人 ③ 療養給付費や高額療養費等の支給に要した費用のうち、12分の1を市町村が負担します。療養給付費負担金 250,527,000円 【前年度課題の概要】 ① 人間ドックは定員を30名としていましたが、申込開始初日で定員に達してしまい、定員を増やしてもしいとの要望がありました。 【成果及び前年度課題に対する対応】 ② 被保険者を対象に健康診査を実施し、生活習慣病など異常の早期発見に取り組みました。また、訪問指導による精密検査受診勧要などを行うことで、重症化予防、医療費の適正化を図りました。② 当該年度に76歳になる核保険者を対象に実施した人間ドックでは、定員を50名に増員し、より多くの被保険者の健康保持に努めました。 【次年度に向けての課題】 ① 引き続き、被保険者の疾病の早期発見及び健康増進を図るため、健康診査、人間ドックによる疾病の予防や適切な医療受診の指導等を行なう必要があります。 所 1			-	<i>,</i> ,		ZW 13					
事業の主な実施状況 ② 2ヶ月連続して同一疾病で複数の医療機関を受診している人に対して受診指導や相談を行いました。 訪問指導実施人数:19人 ③ 療養給付費や高額療養費等の支給に要した費用のうち、12分の1を市町村が負担します。 療養給付費負担金 250,527,000円 【前年度課題の概要】 ① 人間ドックは定員を30名としていましたが、申込開始初日で定員に達してしまい、定員を増やして犯しいとの要望がありました。 【成果及び前年度課題に対する対応】 ① 被保険者を対象に健康診査を実施し、生活習慣病など異常の早期発見に取り組みました。また、訪問指導による精密検査受診勧奨などを行うことで、重症化予防、医療費の適正化を図りました。 ② 当該年度に76歳になる被保険者を対象に実施した人間ドックでは、定員を50名に増員し、より多くの被保険者の健康保持に努めました。 【次年度に向けての課題】 ① 引き続き、被保険者の疾病の早期発見及び健康増進を図るため、健康診査、人間ドックによる疾病の予防や適切な医療受診の指導等を行なう必要があります。 所					3,457			23	3.50%		
事業の主な実施状況 ② 2ヶ月連続して同一疾病で複数の医療機関を受診している人に対して受診指導や相談を行いました。訪問指導実施人数:19人 ③ 療養給付費や高額療養費等の支給に要した費用のうち、12分の1を市町村が負担します。療養給付費負担金 250,527,000円 【前年度課題の概要】 ① 人間ドックは定員を30名としていましたが、申込開始初日で定員に達してしまい、定員を増やして省しいとの要望がありました。 【成果及び前年度課題に対する対応】 ① 被保険者を対象に健康診査を実施し、生活習慣病など異常の早期発見に取り組みました。また、訪問指導による精密検査を診動奨などを行うことで、重症化予防、医療費の適正化を図りました。 ② 当該年度に76歳になる被保険者を対象に実施した人間ドックでは、定員を50名に増員し、より多くの被保険者の健康保持に努めました。 【次年度に向けての課題】 ① 引き続き、被保険者の疾病の早期発見及び健康増進を図るため、健康診査、人間ドックによる疾病の予防や適切な医療受診の指導等を行なう必要があります。 所質 調面 必要性 妥当性 公平性 有効性 効率性 独創性 受整性 保護に受力を振りませいか。 5.3.1.0 点					2/17				_		
主な 実施状況			MINI JJ		247		00				
(成果及び前年度課題に対する対応)		訪問③ 療養	指導実施ノ 給付費や高	人数:19人 高額療養費	等の支給に						
 成果と課題 ① 被保険者を対象に健康診査を実施し、生活習慣病など異常の早期発見に取り組みました。また、訪問指導による精密検査受診勧奨などを行うことで、重症化予防、医療費の適正化を図りました。 ② 当該年度に76歳になる被保険者を対象に実施した人間ドックでは、定員を50名に増員し、より多くの被保険者の健康保持に努めました。 【次年度に向けての課題】 ① 引き続き、被保険者の疾病の早期発見及び健康増進を図るため、健康診査、人間ドックによる疾病の予防や適切な医療受診の指導等を行なう必要があります。 野価 項目 必要性 妥当性 公平性 有効性 効率性 先駆性 投創性 空間 行政必須小、支託の可能性は。 10,7,3,0 空間 対象性 対象性 対象性 対象性 対象性 対象性 対象性 対象性 対象性 対象性		① 人間 しいる	間ドックは気 との要望が	- E員を30名 ありました	0	したが、申う	込開始	初日	で定員に遠	達してしまい	、定員を増やして
所	成果と 課題	① 被係 訪問 ② 当詞 の被 【次年度に ① 引き	呆険者を対 指導による 該年度に76 保険者のの こ向けての き続き、被係	象に健康記 精密検査 歳になる報 建康保持に 課題】 保険者の疾	診査を実施 受診勧奨な 皮保険者を 努めました 病の早期	だを行うこ 対象に実施 こ。 発見及び傾	とで、重した人	重症・ に関い 進を図	化予防、医 ジックでは、 図るため、優	療費の適 定員を50名	正化を図りました。 らに増員し、より多
計画 7 7 3 3 3 1 <u>効率性 コスト・人員効率はどうか。 5,3,1,0</u> <u>5,3,1,0</u> <u>機能性・独創性 他の見本となりえるか。 5,3,1,0</u> <u>保証性・独創性 他の見本となりえるか。 5,3,1,0</u> <u>合計 24 総合 B 増え続ける医療費を適切に抑えるため、引き続き保 A:事業拡充 B:現状維持 C:内容の見直し又は委託の検討 </u>	管 項目	必要性	妥当性	公平性	有効性	効率性		业	妥当性 公平性	行政必須か、委託 受益者の偏りはな	その可能性は。 10,7,3 ないか。 5,3,1
評 合計 24 総合 B 増え続ける医療費を適切に抑えるため、引き続き保 内事業拡充 B現状維持 C:内容の見直に又は委託の検討		7	7	3	3	3	1		効率性	コスト・人員効率に	まどうか。 5,3,1
1	評合計	0.4	総合	-	増え続ける	る医療費を	適切に			き続き保	A:事業拡充 B:現状維持
		24		R							U:内谷の見直し又は安託の

			<u> </u>	_		一	<u>- </u>	` µ/ u · / .		<u> </u>			
事業番号	1015	事為	集名	浄化槽	法	事務				会計区分		一般	会計
担当課	町民生活	課				担当係	環境衛生的	系		事業区分	□新規	見	■継続
予算区分	款	4	衛生	費		項	1 保健	衛生費		E	1	保健	衛生総務費
年		最終了	予算額	決算額	湏		事業費	貴財源内	訳(千円)			備考
+	泛	(千	円)	(千円)	国庫支出金	県支出金	その他り	区入	起債	一般財源	(その	の他収入の内訳)
平成2	9年度		54		35	0	0		0	0	35		
平成29年	度(明許)												
経費の	の内訳	需用	費35·	千円									
活動	項目	単位	年	度	2	7(実績)	28(実績	も)	29	9(実績)	30(計画	<u> </u>	31(計画)
				標									
浄化槽法5	定検査率	%		!績		63.1	60.4			64.6			
				戊率	#	:DIV/0!	#DIV/0	0!	#1	DIV/0!	#DIV/	0!	#DIV/0!
				標									
				!績									
			達用	戊率	#	:DIV/0!	#DIV/0	O!	#1	DIV/0!	#DIV/	0!	#DIV/0!

事業対象 浄化槽使用者

事業目的 浄化槽の適正使用を推進し、琴浦町の水資源の保全を図ります。

1 浄化槽の利用に当たって義務化されている保守点検、清掃記録及び年1回の法定検査に関する報告を受理し、不適正な管理者へ指導を行いました。また、法定検査の未受験者対し検査を受検するよう指導を行いました。

	H26	H27	H28	H29
設置数	780件	757件	710件	683件
未受験	295件	279件	281件	242件
受験率	62.2%	63.1%	60.4%	64.6%

事業の 主な 実施状況

【前年度課題の概要】

- 1 法定検査の受検率の向上を図ります。
- 2 浄化槽台帳のデータを精査します。

【成果及び前年度課題に対する対応】

成果と 課題

- 1 法定検査の未受験者へ、受検するよう通知を行いました。
- 2 (公財)鳥取県保健事業団や上下水道課と情報共有し、台帳データの精査を進めました。

【次年度に向けての課題】

- 1 法定検査の受検率は約65%となっており、公共用水域の水質保全のため、更に受検率を向上させていく必要があります。
- 2 適正な管理指導など行うため、引き続き台帳について、精査を進めます。

所管	評価 項目	必要性	妥当性	公平性	有効性	効率性	先駆性 独創性	妥当性 公平性	住民ニーズ、事業の必要性は。 行政必須か、委託の可能性は。 受益者の偏りはないか。	10,7,3,0 10,7,3,0 5,3,1,0
課の	点	7	10	1	1	3	1	有効性 効率性 先駆性・独創性	目標数値は達成できたか。 コスト・人員効率はどうか。 他の見本となりえるか。	5,3,1,0 5,3,1,0 5,3,1,0
評価		23	総合 評価	В	受検率の		と、台帳の	精査に今行	後も取り組 A:事業拡充 B:野 C:内容の見直し】 D:縮小・終期設定	又は委託の検討

事業番号	_	1171	事美	Ě名	未熟児	養育医療費得				会計区:	_		一般的		
担当課		町民生活		/ +- · ·	#	担当係	保険係	/ 1	#	事業区		□新規			■継続
予算区分	יני	款		衛生		項		衛生		(T III)	E	2	予防費		
	年月	度		算額		日本ナルへ		貴財源[60 D.L. VICE	(20	備和	
	-		(千		(千円)	国庫支出金		その代		起債		一般財源		他収入	入の内訳
平成	戈29	9年度		121		0 (0		0		0	0			
平成29	年月	度(明許)													
							ı						1		
経費	豊の	内訳	扶耳	助費	0円 役	と務費 0円									
汪	活わず	 項目	単位	左	度	27(実績)	28(実約	Ε\	0	9(実績)		30(計画	т т \	21	(計画)
/白	判ら	タロ	半世		標	2八天限/	20(天利	₹/		の大根		30(1)	四/	٥ i	
					:績										
					戊率	#DIV/0!	#DIV/)!	#	DIV/0!		#DIV/	′ 0!	#[OIV/0!
					標										
					績	#DI\/ /0I	#DI\//	1 1	#	DIV/0!		#DI\/ /	′OI	#5)
					戊率	#DIV/0!	#DIV/					#DIV/	U:	#L	OIV/0!
事業対象	象	養育のた	とめ病	院又	は診療剤	fに入院する	ことを必要	とする	未熟	児					
事業目的	内 1					ける乳児 の負担軽源			機関で	で入院治	療	をする場合	合に、医	療費	の自己
	4	<u> </u>	の生り	在1十四	ᇎᇥᇕᄜ	成について	由きがかよ	_+.+	- ル 「	左床 弗 4	\ 	· 終 (+ +: 11-	士 4 1 -	751 +	_
		① 平成	と3年)	支は臣	△尔貝リ	火に しいし	十 望 かんか	ンにに	_ベノ、	△尔頁0	ノ又	神山よめり:	よらん	CUIS	-0
		10T AF	* *	·	L/_L =	ウナンエー	누 카 하 하 ID /	- 441	- :	, # */E	. 	~ 4∧ /⊥+ .		L	
		做 发	∶食目	 达	とは、人	院を必要とす	9 る木烈児	-刈し	· C、业	少安な医) (注	の稲勺を1	丁いより	,	
		₩ #	±∠ .i	· #- /-	± 1.50 00	\o <i>\</i> = / \\\	この 土 畝 旧:	ロッド	<u> </u>	· 선생 수		テレ、フ III IE			
		メリ 豕	石・エ	1				87 / N -	ᆍᄼ)症状から	_ (-		
			ш.ш	1 — 14	・里かと,00	ルクラム以	下の未熟児	20.	,		щ	CO. 404031			
			Д.Д.	1 11	・里 かと,い	ルクラム以	下の木松光	20	,		щ,	CO. (Q.40)	•		
		7.22	Д.Д	I — I	・里か2,00	1007五以	下仍未然先。	χυ.	, ,		щ,	C 0 . 20 40 20	.		
事業の	,	,,,,,	ц. ш	1 — 14	・里か2,00	10クラム以	下仍未热定。	χυ.	,		ш,	C 0 " 37631			
主な		,,,,,	ц. ш	1 <u>—</u>	. 里 か2,00	10クラム以	下の未熟元。	×0'	, ,			C 0 " @ 7631			
主な		, , ,	. ц . ш	1 <u> </u>	. 里 か2,00	10 <i>9</i> 7 A D	下切未然克.	× 0*			<u> </u>	C 0 " ~ 37671			
主な		, , , ,	. ц . ш	1 1	里か2,00	10 <i>9</i> 7 A D	下仍未然兄.					C 0 - 20 7631			
主な		,,,,,		111	里か2,00	100 JAU	下仍未然元.	X 0			ш,	C V "O 7631			
主な		,,,,,		111	里か2,00	100 JAW	下仍未然元.	X 0			ш,	C V "O 76.71			
主な		,,,,,		1 <u>—</u> P	里か2,00	100 JAW	下の未然元	×0			Щ,	C V "O 76.71			
主な				1 — 1	里かと,00	100 JAW	下の未然元	X 0			ш,	C V "O 76.71			
主な				1-1-14	里か2,00	100 JAU	下の未然元				ш,	C 0 "00 FL)(
主な	兄					-	下切未然元.					C 0 "0 76.71			
主な	兄	【前年度詞	課題の	概要	1										
主な	兄	【 前年度 認 ① 法征	課題の 津に基	概要	】 た事業で	きあり大きな								努めて	TL \
主な	兄	【 前年度 認 ① 法征	課題の	概要	】 た事業で									努め~	C L\
主な	兄	【 前年度 認 ① 法征	課題の 津に基	概要	】 た事業で										
主な	兄	【 前年度 認 ① 法征	課題の 津に基	概要	】 た事業で									努め~	C l\
主な	兄	【前年度 ① 法 ② 公 ・ 【成果及 び	題にかず が前年	概 づりま 建	】 た事業で す。	·あり大きな	課題はあり	ません	∵ か、 ^ĭ	引き続き		切な事業質		努めて	てい
主な実施状況	兄	【前年度 ① 法 ② 公 ・ 【成果及 び	題にかず が前年	概 づりま 建	】 た事業で す。	であり大きな	課題はあり	ません	∵ か、 ^ĭ	引き続き		切な事業質			てい
主な 実施 成果	兄	【前年度 ① 法 ② 公 ・ 【成果及 び	題にかず が前年	概 づりま 建	】 た事業で す。	·あり大きな	課題はあり	ません	∵ か、 ^ĭ	引き続き		切な事業質		努め つ	Cli
主な実施状況	兄	【前年度 ① 法 ② 公 ・ 【成果及 び	題にかず が前年	概 づりま 建	】 た事業で す。	·あり大きな	課題はあり	ません	∵ か、 ^ĭ	引き続き		切な事業質			
主な実施状況 果と	兄	【前年度 ① 法 ② 公 ・ 【成果及 び	題にかず が前年	概 づりま 建	】 た事業で す。	·あり大きな	課題はあり	ません	∵ か、 ^ĭ	引き続き		切な事業質			TLV
(主な) 実施状況 果と	元	【前年度 ① 法 ② 公 ・ 【成果及 び	題 津要 前 年 年 年	概 づりま 建 は	】 た事業で す。 題に対す	·あり大きな	課題はあり	ません	∵ か、 ^ĭ	引き続き		切な事業質		努めて	Cl \
主な実施状況 果と	元	【前年度 語 (成果 平 成果 平 成 (次年度に	題にがずる の 基あ 年 年	概づり 度 度 ての	】 事業で 題に対す 申請がな	·あり大きな	課題はありる	ません 支給(i	ゕ゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゚゚゙゙゙゙゙゙゙゚゚゙゙゙゙゙゙゙゚゚゙ゕ゚゙゚゙゙゙゙゙゙	引き続き	· 適:				TIV
主な実施状況 果と	元	【前年度 語 (成果 平 成果 平 成 (次年度に	題にがずる の 基あ 年 年	概づり 度 度 ての	】 事業で 題に対す 申請がな	であり大きな る対応 】 なかったため	課題はありる	ません 支給(i	ゕ゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゚゚゙゙゙゙゙゙゙゚゚゙゙゙゙゙゙゙゚゚゙ゕ゚゙゚゙゙゙゙゙゙	引き続き	· 適:			努め つ	Cli
を	元	【前年度 語 (成果 平 成果 平 成 (次年度に	題にがずる の 基あ 年 年	概づり 度 度 ての	】 事業で 題に対す 申請がな	であり大きな る対応 】 なかったため	課題はありる	ません 支給(i	ゕ゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゚゚゙゙゙゙゙゙゙゚゚゙゙゙゙゙゙゙゚゚゙ゕ゚゙゚゙゙゙゙゙゙	引き続き	· 適:				
主な 実施状況 成果と	元	【前年度 語 (成果 平 成果 平 成 (次年度に	題にがずる の 基あ 年 年	概づり 度 度 ての	】 事業で 題に対す 申請がな	であり大きな る対応 】 なかったため	課題はありる	ません 支給(i	ゕ゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゚゚゙゙゙゙゙゙゙゚゚゙゙゙゙゙゙゙゚゚゙ゕ゚゙゚゙゙゙゙゙゙	引き続き	· 適:			努めて	Clv
主施 成課 東極 大田 大田 大田 大田 大田 大田 大田 大	兄	【前年度法 (可) 大年度 (で) 大年度 (で) 大年度 (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で)	題にが 前 9 向 度 の 基を 年 年 けも	概づり、度度で引き、では、では、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、こので	】 たす。 題に対する 親題 課題 法:	であり大きな る対応 なかったため	課題はありる	ません 支給に	よう心	引き続き はかけまで	- 適· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	切な事業等	実施にき	は。	10,7,3,
実 成課 所主施 成課 評:	兄	【前年度 語 (成果 平 成果 平 成 (次年度に	題にがずる の 基あ 年 年	概づり、度度で引き、では、では、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、こので	】 事業で 題に対す 申請がな	であり大きな る対応 なかったため	課題はありる	ません 支給(i	が、ありよう心	引き続き	適・し	切な事業 た。 た。	実施に登るの必可能性を	は。	10,7,3,
実 成課 所管 大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大	兄	【前① 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大	題にが 前 9 向 度 妥 の 基あ 年 年 けも ※	概づり 度 度 て 引 性	】 たす 題 申 課続 公 ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※	であり大きな る対応 なかったため 律に基づき 有効性	課題はありる あ切な事務を 効率性	ませた。	が、ありで性性	引き続き けたでは、大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大	· 適・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	切な事業 対な事業 「世界政者を でのようでである。 でのようできない。 でのようでは、 でのようでは、 でのようでは、 でのようでは、 でのようでは、 でのようでは、 でのようでは、 でのようでは、 でのようでは、 でのようでは、 でのようでは、 でのようでは、 でのようでは、 でのようでは、 でのようでは、 でのようでは、 でのようでは、 でのようでは、 でのまるでは、 でのなでのなでは、 でのなでは、 でのなでのなでは、 でのなでは、 でのなでは、 でのなでは、 でのなでのなでは、 でのなでは、 でのなでは、 でのなでのなでは、 でのなでは、 でのなでは、 でのなでのなでは、 でのなでは、 でのなでは、 でのなでのなでは、 でのなででは、 でのなでは、 でのなでは、 でのなででは、 でのなでのなでは、 でのなでは、 でのなででは、 でのなででは、 でのなででは、 でのなでは、 でのなででいなでは、 でのなでは、 でのなでは、 でのなででなでなでなでなでなでなでなでなでなでなでなでなでなでなでなでなでなで	実施に	は。	10,7,3, 10,7,3, 5,3,1,0 5,3,1,0
主施 成課 評項 評項 評点		【前年度法 (可) 大年度 (で) 大年度 (で) 大年度 (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で)	題にが 前 9 向 度 妥 の 基あ 年 年 けも ※	概づり、度度で引き、では、では、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、こので	】 たす。 題に対する 親題 課題 法:	であり大きな る対応 なかったため	課題はありる	ませた。	が、ありよう心	引き続けるでは、対しては、対しては、対しては、対しては、対しては、対しては、対しては、対して	適・	切な事業の位置では、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学の	実施になる。 乗配の必可の必可の必可のでいきたか。 はきらか。	は。	10,7,3, 10,7,3, 5,3,1,0 5,3,1,0
実		【前① 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大	題にが 前 9 向 度 妥 の 基あ 年 年 けも ※	概づり 度 度 て 引 性 7	】 たす 題 申 課続 公 ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※	であり大きな る対応 なかったため 律に基づきな 有効性 3	課題はありる あ切な事務を 効率性	ま せ 給 行 集 発 1	が、あらで性性	引き続けています。 は ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	適しす。	切な事業 ・	実施(こ) ************************************	は。 は。 6 B.現	10,7,3, 10,7,3, 5,3,1,0 5,3,1,0 5,3,1,0

		ール	2				ルツョ	ᅏ		<u> </u>				
事業番号 707	事第	美名	家庭用発	電設備等認	置事:	業		事業区	፟፟፟分			一般:	会計	
担 当 課 町民生活	課			担当係	環境領	钉生的	系				□新規	見	■継続	Ē
予算区分 款	4	衛生	費	項	1 1	保健征	衛生費		E		4	環境征	衛生費	
年度	最終予算額 決算額			Ī	事業費	財源内訳(千円)					備考		
十段	(千	円)	(千円)	国庫支出金	県支出	出金	その他収入	起債	į	一般	財源	(その)他収入の内	訳)
平成29年度	1	1,020	870	0		435	0		0		435			
平成29年度(明許)														
経費の内訳	負担	金、裤	前 助及び交	付金 870 -	千円									
活動項目	単位	年		?7(実績)	28	(実績	<u>2</u>	9(実績)		30	(計画	<u>ī</u>)	31(計画	j)
太陽光発電(全世			標	2%		2%		2%						
帯に占める割合)	%	実		2. 51%		. 61%		2. 66%						
		達原	艾率 1	25. 50%	13	0. 50	% 13	33. 00%		#1	DIV/()!	#DIV/0)!

事業対象 琴浦町住民

事業目的 再生可能エネルギーの導入促進を図り、環境負荷低減に努めます。

家庭用発電設備等設置補助

地域に豊富に存在する自然エネルギーを最大限活用し、エネルギーの地産地消による地域の活性化が 図れました。

再生可能エネルギーを活用する機器を補助することで、地球温暖化対策へ貢献しました。

1 太陽光発電設備 3件×240,000円(4kw×60,000円)=720,000円

事業の 主な 実施状況

2 薪ストーブ等

1件×150,000円=450,000円



	太陽光発電	燃料電池	薪ストーブ	合計
H27	8	1	4	13
H28	1	0	1	2
H29	3	0	1	4



【前年度課題の概要】

- ①災害(停電)時に強い設備の普及啓発
- ②固定価格買取制度の買取価格の低下から、導入意欲が停滞している傾向がある

【成果及び前年度課題に対する対応】

成果と 課題

- ①災害に強い機器の普及啓発が出来ていません。
- ②消費税増税前の需要で、今年度は太陽光発電設備は現時点で既に予算枠(3件)に達しているが一時 的な傾向と思われます。

【次年度に向けての課題】

- ①補助金交付者や設備業者に耐用年数(太陽光発電設備:17年など)や補助金返還(売買の場合等)が 生じる場合があることの普及啓発を行います。
- ②エネルギーの地産地消による地域の活性化を県や関係者と連携して更に推進していきます。

月 僧	1 +2	评価 頁目	必要性	妥当性	公平性	有効性	効率性	先駆性 独創性	妥当性 公平性	住民ニーズ、事業の必要性は。 行政必須か、委託の可能性は。 受益者の偏りはないか。	10,7,3,0 10,7,3,0 5,3,1,0
部の	果 評)	平価 点	3	7	0	3	3	1	有効性 効率性 先駆性・独創性	目標数値は達成できたか。 コスト・人員効率はどうか。 他の見本となりえるか。	5,3,1,0 5,3,1,0 5,3,1,0
記	F F	含計 点	17	総合 評価	С						3:現状維持 し又は委託の検討 设定 E:休止・廃止

		<u> </u>	2		<u>* 木 ル 不</u>	がり百				
事業番号 116	事美	美名	環境保全				事業区分		一般会	計
担当課 町民生活	課			担当係	環境衛生	係		□新規	見	■継続
予算区分 款	4	衛生	費	項	1 保健	衛生費		目 4	環境律	5生費
左	最終予	7算額	決算額		事業費	貴財源内訳	(千円)			備考
年度	(千	円)	(千円)	国庫支出金	県支出金	その他収入	起債	一般財源	(その	他収入の内訳)
平成29年度	-	1,086	1,015	0	0	110	С	905		全事業所負 1社)110千円
平成29年度(明許)										
経費の内訳	委託その		21千円 94千円							
活動項目	単位	年	度 2	27(実績)	28(実績	<u>(</u>) 2	9(実績)	30(計画	画)	31(計画)
環境審議会			標	3	3		3	3		3
(公害防止計画書協	件		績	0	3		2			
議)			戊率	0. 0%	100.0	%	66. 7%	0%		0%
河川水水質検査、			標	18	18		18	19		19
工場排水検査、沿	箇所		績	18 100. 0%	18		18			
岸海水汚染調査	海水汚染調査 達成率				100.0	%	100.0%	0%		0%
****** * * * * * * * * * * * * * * * *	- to T	<i>⊢</i> =n. =r	1.# o + =	hh.			_		·	

事業対象 事業者(新規・施設設備の変更等)

事業目的

琴浦町環境保全条例に基づき、環境保全に係る業務を行います。

(公害防止及び生活環境の保全(町民への普及啓発))

1 開発計画の審議

琴浦町環境保全条例に基づき、2件の畜産施設の公害防止計画を環境審議会で審議しました。 第2次琴浦町環境基本計画を審議し、策定しました。

2 水質検査等の実施

河川や工場排水の水質検査、赤碕港の沿岸の生態等の調査を行いました。

河川水水質検査:16河川

事業の 主な 実施状況

工場排水:1事業者

沿岸海水汚染調査:主に赤碕港周辺

3 コトウラ環境リサイクルの会への事業委託

環境リサイクル関連事業を委託し、生ゴミの減量や堆肥化・小中学校のプール清掃や堤へのEM菌の投入などを行い、可燃ごみの減量や食育等の普及啓発を実施します。

【前年度課題の概要】

- ①新規の開発計画について、生活環境の保全とのバランスを取る
- ②生活環境を保全していくためには、行政のみではなく地域住民の協力も必要であることを普及啓発していくこと

【成果及び前年度課題に対する対応】

成果と 課題

①新規(変更)開発計画の地域住民や関係者と協議しながら、公害防止計画書の審議を行い、承認を行い ②厚生部長会やホームページ等の様々な場所で普及啓発を行いました。

【次年度に向けての課題】

公害防止計画を承認した事業場について、地域住民から信頼されるような事業実施について現場確認・ 指導を行います。

様々な場所での生活環境を保全するための行動について普及啓発を行います。

所管	評価 項目	必要性	妥当性	公平性	有効性	効率性	先駆性 独創性	妥当性	住民ニーズ、事業の必要性は。 行政必須か、委託の可能性は。 受益者の偏りはないか。	10,7,3,0 10,7,3,0 5,3,1,0
課の	評価 点	7	10	5	3	3	1	有効性 効率性 先駆性・独創性	日標数値は達成できたか。 コスト・人員効率はどうか。 他の見本となりえるか。	5,3,1,0 5,3,1,0 5,3,1,0
評価	合計占	29	総合評価	В					A:事業拡充 B:現 C:内容の見直しる	スは委託の検討

		アン	20	十尺子	<u>* 木 炒 不</u>	ロルツョ				
事業番号 114	事業	名	斎場管理				事業区分		一般:	会計
担 当 課 町民生活	課			担当係	環境衛生	系		□新規	見	■継続
予算区分 款	4	衛生:	費	項	1 保健	衛生費		∃ 4	環境征	
年度	最終予	算額	決算額		事業費	貴財源内訳	(千円)			備考
十 及	(千F	円)	(千円)	国庫支出金	県支出金	その他収入	起債	一般財源)他収入の内訳)
平成29年度	12	,330	12,176	0	0	3,953	0	8,223	円	使用料2,874千 订負担金等 千円
平成29年度(明許)										
経費の内訳			金 : 5,749千 438千円		請負費(火 :1,064千円		物等修繕): 1:1,387千円			
活動項目	単位 年度 2		?7(実績)	28(実績	<u>2</u>	9(実績)	30(計画	画)	31(計画)	
斎場業務		目		300	300		300	300		300
(火葬業務)	件実			284	302		305			
(八升木切)		译片	け 玄	017%	100.70	6	102%	∩%		Ο%

100.7%

事業対象 |葬祭執行関係者(利用者)

事業目的 | 火葬を確実・適切に行い、町民(利用者)の福祉の増進に寄与する。

94.7%

達成率

1 火葬業務

利用状況

年度	琴浦町	倉吉市	北栄町	湯梨浜町	三朝町	その他	合計
H27	262	1	15	0	0	6	284
H28	264	5	22	1	1	9	302
H29	271	5	16	3	0	10	305

事業の 主な 実施状況

2 施設維持管理業務

- •火葬炉設備修繕工事
- •火葬炉設備保守点検
- •飲料水検査
- フロア清掃
- 浄化槽保守点検
- •植栽剪定等



102%

0%

0%

【前年度課題の概要】

- ①大規模修繕に伴う斎場使用料の値上げの検討します。
- ②耐用年数(50年)が近づいてくるまでに、施設の立替・火葬炉の減・統合(廃止)の検討します。
- ③災害時の業務継続計画の策定の検討します。

【成果及び前年度課題に対する対応】

成果と 課題

- ①大規模修繕費用の確認及び広域連合のふるさと斎場の動向や県内の斎場の動向を確認中です。
- ②火葬炉メーカーと長期修繕計画について協議検討中です。
- ③燃料タンクが更新時期にきており、災害時の円滑な火葬のため、容量を大きくするように検討中です。

【次年度に向けての課題】

看守人が高齢になっていきており、円滑な火葬執行のため、看守人確保のため雇用条件等について検討 が必要です。

災害時に安定・継続して火葬執行できるように、引き続き検討します。

所管	評価 項目	必要性	妥当性	公平性	有効性	効率性	先駆性 独創性	妥当性 公平性	住民ニーズ、事業の必要性は。 行政必須か、委託の可能性は。 受益者の偏りはないか。	10,7,3,0 10,7,3,0 5,3,1,0
課の	評価点	7	3	5	3	3	1	有効性 効率性 先駆性・独創性	目標数値は達成できたか。 コスト・人員効率はどうか。 他の見本となりえるか。	5,3,1,0 5,3,1,0 5,3,1,0
評価	合計 点	22	総合 評価	В					A:事業拡充 B:現 C:内容の見直し D:縮小・終期設定	なは委託の検討

	1 170		一 / 文	・ヘルハ	・いしつ」目			
事業番号 1192	事業名	省エネル	ギー対策事	業		事業区分		一般会計
担当課 町民生活	課		担当係	環境衛生	系		□新規	見 ■継続
予算区分 款	4 衛生	費	項	1 保健	衛生費		∃ 4	環境衛生費
年度	最終予算額	決算額		事業費	貴財源内訳	(千円)		備考
平 及	(千円)	(千円)	国庫支出金	県支出金	その他収入	起債	一般財源	(その他収入の内訳)
平成29年度	982	982	0	0	0	0	982	
平成29年度(明許)								
経費の内訳	借上料 9 その他:10	72千円 0千円						
活動項目			?7(実績)	28(実績	<u>2</u>	9(実績)	30(計画	回) 31(計画)
		標						
		!績						
	達用	戊率 ♯	#DIV/0!			DIV/O!	#DIV/	0! #DIV/0!
								!

事業対象 琴浦町役場職員(住民)

事業目的 家庭の省エネルギー対策を普及啓発し、環境意識の向上を図り、地球温暖化防止に貢献します。

1 電気自動車リース業務

電気自動車の普及啓発として、公用車として利用しました。

平成30年3月末現在 走行距離:38,000km台

※5年リースの契約が、平成30年11月末に切れます。

※役場職員には、電気自動車の良さを理解してもらうことができました。

事業の 主な 実施状況

2 電気自動車の貸出し

休日等は住民等に貸出、体験使用を行い、電気自動車の普及啓発、省エネルギー意識の向上に寄与しました。リース当初(H25/12)から平成30年度末まで、通算5回貸出し 1日当り、3,780円(税込み)

※メーカーが販売促進で無料体験を行ったため、貸出しが伸びませんでした。



【前年度課題の概要】

①平成30年度中にリースが終了する電気自動車をどうするか 5年リースが終了する電気自動車(リーフ)を再リース又は新規にリースするか検討しました。

【成果及び前年度課題に対する対応】

成果と 課題 ①バッテリーの経年劣化が心配されることから、5年リース後(平成30年11月末)は、電気自動車をリース事業者へ返却します。

【次年度に向けての課題】

①電気自動車は今後も普及台数が増えていくことから、バッテリーの劣化による走行距離の低下等の技術上の問題が解決していけば再度導入の検討を行います。

所管	評価 項目	必要性	妥当性	公平性	有効性	効率性	先駆性 独創性	必要性 妥当性 公平性	住民ニーズ、事業の必要性は。 行政必須か、委託の可能性は。 受益者の偏りはないか。	10,7,3,0 10,7,3,0 5,3,1,0
課 の	評価 点	7	0	1	3	5	1	効率性	目標数値は達成できたか。 コスト・人員効率はどうか。 他の見本となりえるか。	5,3,1,0 5,3,1,0 5,3,1,0
評価	合計 点	17	総合 評価	С					A:事業拡充 B:現 C:内容の見直し D:縮小・終期設定	スは委託の検討

		170		\ -	<u>- / / / / / / / / / / / / / / / / / / /</u>				
事業番号 1070	事業	名 電	気自動		置器設置事		事業区分		一般会計
担当課 町民生活	課			担当係	環境衛生	系		□新規	見 ■継続
予算区分 款	4	衛生費		項	1 保健	衛生費	E	4	環境衛生費
年度	最終予	算額 :	決算額		事業費	と 関源内訳 ((千円)		備考
十段	(千F	円) ((千円)	国庫支出金	県支出金	その他収入	起債	一般財源	(その他収入の内訳)
平成29年度		761	737	0	0	0	0	737	
平成29年度(明許)									
経費の内訳		水費 69 也:40千							
活動項目	単位	年度	2	7(実績)	28(実績	į) <mark>2</mark>	9(実績)	30(計画	回) 31(計画)
争读充雷哭利田问				1500	1500		1500		
	回								
**			<u>«</u>]	09.5%	95. 4%	1	12. 5%	#DIV/0	0! #DIV/0!
		日標							
				211/01	UD 711 /6		D T.V. /O.I.		
		達成率	e H	DIV/O!	#DIV/C	1 #	DIV/O!	#DIV/0	0! #DIV/0!
栓貨の内訳	その作	也:40千年度	巴 2	1500 1642 09. 5%	1500 1431 95. 4%	, 1	1500 1687 12.5%	#DIV/0	0! #DIV/0!

事業対象 電気自動車利用者(観光旅行者)、琴浦町住民

事業目的 急速充電器を設置することにより、電気自動車の普及促進及びCO2排出抑制を行い、地球温暖化防止を図ります。

1 急速充電器(ポート赤碕)の維持管理 ポート赤碕に設置した急速充電器を旅行者等の利用者が安心して利用できるようにしました。 充電回数

事業の 主な 実施状況

年度	回数	KW
H27	1,642	10,084
H28	1,431	9,244
H29	1,687	10,562

※H28、一時故障していました (参考)

県内EV PHV普及台数

年度	台数
H27	763
H28	889
H29	1,029



【前年度課題の概要】

①急速充電器の新設の検討

今年度設置後8年程度経過し、耐用年数が過ぎることや、不具合が多くなり始めたので、観光拠点である道の駅「琴の浦」への移設を検討する時期にきています

【成果及び前年度課題に対する対応】

成果と 課題

①スマートインターチェンジ開通に合わせて、急速充電器を新設します。(業者が設置し、維持管理行う) ※町は、場所貸しのみ

【次年度に向けての課題】

①引き続き、ポート赤碕に急速充電器が設置できるように、業者と協議します。(業者が設置し、維持管理を行う)

!	評価						先駆性	必要性	住民ニーズ、事業の必要性は。	10,7,3,0		
所	項目	必要性	妥当性	公平性	有効性	効率性	独創性	妥当性	行政必須か、委託の可能性は。	10,7,3,0		
管	垻日						独剧注	公平性	受益者の偏りはないか。	5,3,1,0		
課	評価点							有効性	目標数値は達成できたか。	5,3,1,0		
		7	0	1	1	3	1	効率性	コスト・人員効率はどうか。	5,3,1,0		
の								先駆性·独創性	他の見本となりえるか。	5,3,1,0		
評	合計		総合						A:事業拡充 B:現	状維持		
価		13		С					C:内容の見直しる			
	点		評価		D.縮小·終期設定 E:休止·廃止							

		1 /2~			7	<u> </u>	<u> </u>	<u> </u>	<u> </u>	н				
事業番号 113	事	業名	動物愛	:護					会計图	☑分			一般	会計
担当課 町民生	活課				担当係	環境衛生	系		事業区	☑分	[二新規	見	■継続
予算区分 款	・算区分 款 4 衛生		:費		項 1 保健衛生費			費	目			4	環境	衛生費
年	最終	予算額	決算額	Į.		事業領	貴財源区	为訳 (千円)					備考
年度 年度 (千円			(千円)		国庫支出金	県支出金	県支出金 その他収入		起債		一般	財源	(そ)	の他収入の内訳)
平成29年度		360 25		256	0	30 226		226	0			0		登録関係手数 6千円
平成29年度(明計	午)													
経費の内訳	役和	务費70	千円、雰	託	料80千円、	負担金、衤	献助金	及び	交付金	<u>2</u> 60−	f円、	そのイ	也46=	戶円
活動項目	単位	立 年	度	2	7(実績)	28(実績)		29(実績)		30	0(計画	<u> </u>	31(計画)	
			標		75.67	77.1			78.52					
狂犬病予防接種	率 %		績		63.12	68.34			76.14					
					83%	89%			97%		#	:DIV/(0!	#DIV/0!
飼い主のいない猫	岀		標											
対体	╜│頭	美	経 績			4			6					

事業対象 愛玩動物の飼い主・一般住民又は町内自治会

達成率

事業目的 愛玩動物の適正飼養及び未然に狂犬病を防ぎます。生活環境の保全を図ります。

#DIV/0!

1 町内の犬を台帳に登録して管理し、狂犬病予防法により義務付けられている狂犬病予防注射を、 公益社団法人鳥取県獣医師会と連携しながら実施しました。

#DIV/0!

#DIV/0!

#DIV/0!

#DIV/0!

	H26	H27	H28	H29
登録頭数	1,003頭	987頭	859頭	788頭
接種頭数	647頭	623頭	587頭	600頭
接種率	64.51%	63.12%	68.34%	76.14%

事業の 主な 実施状況

対策

- 2 新たに飼われることになった犬へ鑑札を交付しました。 平成29年度 25件
- 3 野良猫への不妊・去勢手術費用の助成を行いました。

	H28	H29
実施頭数	4頭	6頭
補助金額	40,000円	60,000円

【前年度課題の概要】

1 狂犬病予防注射の接種率は県の平均に比べ低く、注射を受けていない飼い主に対して再度通知を出したりしていく必要があります。

【成果及び前年度課題に対する対応】

成果と 課題

1 台帳データの精査を行うとともに、注射を受けていない飼い主に対して、再度注射実施の通知を出し、接種率が改善しました。

【次年度に向けての課題】

- 1 狂犬病予防注射の接種率は、台帳精査、接種の通知により改善されてきていますが、依然として注射を接種しない飼い主がいるため、引き続き啓発をしていく必要があります。
- 2 地域活動支援のため、野良猫への不妊・去勢手術費用の助成を継続するとともに、飼い主のいない猫を容易に捕獲するための捕獲器を利用することも必要です。

所管	評価 項目	必要性	妥当性	公平性	有効性	効率性	先駆性 独創性	妥当性	住民ニーズ、事業 行政必須か、委 受益者の偏りは	託の可能性は。	10,7,3,0 10,7,3,0 5,3,1,0
課の	評価 点	7	7	1	3	3	0		目標数値は達成 コスト・人員効率 他の見本となり	はどうか。	5,3,1,0 5,3,1,0 5,3,1,0
評価	合計 点	21	総合 評価	В		主への啓発 の支援を継		のいない犭 必要があり		A:事業拡充 B:現 C:内容の見直しる D:縮小・終期設定	スは委託の検討

		<i> 17</i> ~		12. 7	<u>- </u>		4 N		
事業番号 120	事	業名	ごみ減量	対策			会計区分		一般会計
担当課 町民生	活課			担当係	環境衛生	系	事業区分	□新規	見 ■継続
予算区分 款	4	衛生	費	項 2 清掃費			目 1		じん芥処理費
年度	最終-	予算額	決算額		事業費	貴財源内訳	(千円)		備考
十茂	(Ŧ	円)	(千円)	国庫支出金	県支出金	その他収入	起債	一般財源	(その他収入の内訳)
平成29年度		2,940 2,509		0	0	2,001	0	508	ふるさと未来夢基金 2,000千円、リターナ ブル皿使用負担金1 千円
平成29年度(明許	-)								
経費の内訳	報償	金2,4	87千円、使	見用料及び2	賃借料22千	-円			
活動項目	単位	年	度 2	!7(実績)	28(実績	2	9(実績)	30(計画	画) 31(計画)
再資源化量			標	622	634		645		
) t		:績	679	478		592	// - - - //	
(ЖДД И У Д 10Д И	·/		支率	109%	75%		92%	#DIV/	0! #DIV/0!
			標						
			! 績				· · · · · · ·	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	
		達	或率 #	DIV/0!	#DIV/0)! #	:DIV/0!	#DIV/	0! #DIV/0!

事業対象 琴浦町民

事業目的であの減量化を推進し琴浦町のごみの減量を進めます。

1 各地区、小学校へ、資源ごみの回収量に応じて、報奨金を交付しました。

	H26	H27	H28	H29
団体数	114 団体	123 団体	113 団体	120 団体
古紙類	487,282 kg	551,625 kg	368,450 kg	480,700 kg
金属類	9,953 kg	10,825 kg	8,160 kg	9,808 kg
びん	11,712 本	9,709 本	7,320 本	6,797 本

※報奨金単価 古紙、金属類 5円/kg、びん 5円/本

事業の 主な 実施状況

【前年度課題の概要】

- 1 可燃ごみとして処分されるものの半分は紙や布類であることから、リサイクル意識の成果と 向上に 努めることが必要です。
- 2 事業系の一般ごみには紙類が多く、事業所にもリサイクルの啓発が必要です。事業所も回収団体としての登録を検討します。

【成果及び前年度課題に対する対応】

成果と 課題

- 1 ごみの減量を進めるため、ごみの減量化とあわせて分別への意識が高まるよう、広報ことうらやHP で分別に向けた啓発を行いました。
- 2 社会福祉協議会などを登録団体として回収を継続しています。事業所等についても、ごみの減量化が図られる

【次年度に向けての課題】

- 1 資源ごみ回収報奨金の支給により、資源ごみのリサイクル体制は整ってきており、状況に応じ単価などの見直しを検討していく必要があります。
- 2 事業所のごみが増加傾向であり、引き続き分別・減量化への啓発が必要です。

所管	評価 項目	必要性	妥当性	公平性	有効性	効率性	7F 5M 1+	必要性 妥当性 公平性	住民ニーズ、事業の必要性は。 行政必須か、委託の可能性は。 受益者の偏りはないか。	10,7,3,0 10,7,3,0 5,3,1,0
課の	評価点	7	10	3	1	3	1	有効性 効率性 先駆性・独創性	目標数値は達成できたか。 コスト・人員効率はどうか。 他の見本となりえるか。	5,3,1,0 5,3,1,0 5,3,1,0
評価	合計	25	総合 評価	С		による資源 ていく必要な			A:事業拡充 B:現 C:内容の見直しる D:縮小・終期設定	スは委託の検討

事業番号 担当課	1	19	事業	<u>₹成</u>	じんき	9 ≿⁄л.∓		業成果	これり	力音	兼		[価:		一般:	스타	
		· 生活		₹ 1 0	CN	17XE1	± 担当係	環境衛生	玄		事業			コ新規			継続
予算区分		<u>, 工 / </u>		衛生	费		項	2 清掃			尹木	<u> </u>		<u> </u>	で じん才		
		FΛ	_	P 算額		1 安百	- A		具 貴財源「	力訳 ((千円)				C/U)	備者	
年	度		(千		(千		国庫支出金	県支出金	その化		起	債	一般	財源	(その		。 、の内訳)
平成2			160	0,637	7 156,949		0	0	0 93,709			0	6	3,240	76,65 集手 円、ご 入4,50 物許で	1千円 数料12 30 31千F 可申記 円、資	来 夢基金 2,016千 売捌廃 野手 計手 で で で で で で で で で が で で が で で が で で が で で が で で が で で が の で が の で が の で に が に が の で に の に の に の に の に の に の に の に の に の
平成29年度(明許)																	
,	の内訴	5				合負	担金(ごみ)	3千円、補 処理)64,39	2千円	,そ(の他20						
活動	項目		単位				7(実績)	28(実績			9(実績		30	0(計画	<u>ī</u>)	31	(計画)
- * 7, 1-11 11 1			,				440.59	4337.3			251.6						
ごみ排出量			t				675.62 105%	4594.2 106%			647.2 109%	/	#	DIV/0	וו	#٢	IV/0!
					成率]標		100/0	100%			103/0		#	ן / ענט	J.	#L	71 V / U:
実績																	
達成率				#	DIV/0!	#DIV/	O!	#	DIV/0)!	#	DIV/0	O!	#D	IV/0!		
事業対象 琴浦町民																	
事業目的	廃棄	物の	適正な	よ分別	」・保管	膏•収纬	集運搬•処	分を行い、	生活班	環境 <i>0</i>)保全	:及び	公衆	衛生を	£維持	します	
	1	家庭	ごみの	の収集	上運搬	を行り	いました。										
					レセンター搬入量								単化	立:kg			
		10.7	_ , ,	177			29	H28			前年対比			家庭	゛゙゙み		
					家庭	ごみ	その他	家庭ごみ その他		D他			その	の他	収集	形態	
		□	燃ご	み	3,047	7,040	1,291,260	3,054,620	1,216	6,820	Δ	7,580	7	4,440	週2	□	
		不	燃ご	み	100),620	28,110	112,720	28	3,660	Δ 12	2,100	Δ	550	月1	回	
		可燃	生粗ノ	トごみ	58	3,280	90,930	61,650	88	3,800	Δ3	3,370		2,130	年3	回	
		不燃	生粗ノ	<u> </u>	21	,670	8,990	22,080	8	3,440	Δ	410		550	年3	回	
事業の	2	指定	ゴミ袋	の作	成、則	反売を	行いました										
主な	۲ ا		定ゴミ袋の作成、販売を							販売	数						
主な	_	作成					4044.7	10 000代		大袋	50本	∀ 入	9.1	20袋	10枚	入:	9,450氯
主な		作成	数	久入	10,0	00袋	10枚入	10,000衣		八 红	001,	~/ `	•,.				
主な		作成 大袋	数 50村				10枚入				50枚			40袋	10枚	人	5,450泵
主な	3	作成 大袋 小袋 資源	数 50村 50村 ごみ[女入 回収기	2,8	00袋	10枚入に対して、	5,000袋 補助金を交		小袋	50枚			40袋	10枚		5,450泵
主な	3	作成 大袋 小袋 資源 設計	数 50枚 50枚 ごみ[置部落	女入 回収기 客数	2,8 \屋の	00袋 設置 3	10枚入 に対して、 金	5,000袋 補助金を交 額(円)	付し 17	小袋 ました 7,000	50材 :。 円	人人		40袋	10枚		5,450泵
主な	3	作成 大袋 小袋 資源 設計	数 50枚 50枚 ごみ[置部落 用生	女人 回収リ 喜数 ゴミ	2,8 \屋の	00袋 設置 3 幾の	10枚入 に対して、	5,000袋 補助金を交 額(円) て補助金	付し 17	小袋 ました 7,000	50材 :。 円	人人		'40袋	10枚		5,4504
主な	3	作成 大袋 小袋 資源 設計	数 50枚 50枚 ごみ[置部落	女人 回収リ 喜数 ゴミ	2,8 \屋の	00袋 設置 3	10枚入 に対して、	5,000袋 補助金を交 額(円)	付し 17 全を交	小袋 ました 7,000	50を :。 円 ました	人人		40袋	10枚		5,450 <u>\$</u>
	3	作成 大小袋 資源 設計 家庭	数 50 50 ごみ 置部落 用生 件数	女入 回収/J 客数 ゴミ/	2,8 V屋の 処理相	00袋 設置 3 幾の	10枚入 に対して、	5,000袋 補助金を交 額(円) て補助金	付し 17 全を交	小袋 ました 7,000 付し	50を :。 円 ました	人人		40袋	10枚		5,450
主な	3 4 【前4	作成袋袋 設設 家	数 50枚 50枚 ごみに 田生 件数	女入 回収/ 客数 ゴミ/	2,8 v屋の 処理	00袋 設置 3 幾の原 1件	10枚入 に対して、	5,000袋 補助金を交 額(円) して補助金 額(円)	が付し。 17 全を交 20	小袋 ました 7,000 付し),000	50札 :。 円 ました 円	た。	1,7			(人)	
主な	3 4 【前4	作成袋袋源 家 度活	数 50 50 50 ごみ ご 部 部 用 生 件 数 環 環 境 の で の で の で の で の の の の の の の の の の の	女入 回収り 客数 概要 の保全	2,8 N屋の 処理相 】	00袋 設置 3 幾の原 1件	10枚入 に対して、 量 講入に対し 素 また、災害	5,000袋 補助金を交 額(円) して補助金 額(円)	が付し。 17 全を交 20	小袋 ました 7,000 付し),000	50札 :。 円 ました 円	た。	1,7			(人)	•
主な	3 4 【前4	作成袋袋源 家 度活	数 50 50 50 ごみ ご 部 部 用 生 件 数 環 環 境 の で の で の で の で の の の の の の の の の の の	女入 回収り 客数 概要 の保全	2,8 N屋の 処理相 】	00袋 設置 3 幾の原 1件	10枚入 に対して、	5,000袋 補助金を交 額(円) して補助金 額(円)	が付し。 17 全を交 20	小袋 ました 7,000 付し),000	50札 :。 円 ました 円	た。	1,7			(人)	
主な	3 4 【前4 1	作大小資 家 度活的	数 50 50 ご 部 第 用 生 数 環 環 環 り り り り り り り り り り り り り り り り	女入 回収/ 国数 ボミグ 概要会	2,8 N屋の 処理相 このた て推済	00袋 設置 3 幾の原 1件	10枚入 に対して、 無入に対し 購入に対し また、災害 いく必要が	5,000袋 補助金を交 額(円) して補助金 額(円)	が付し。 17 全を交 20	小袋 ました 7,000 付し),000	50札 :。 円 ました 円	た。	1,7			(人)	
主な	3 4 【前4 1	作大小資 家 度生化 及成袋袋源設庭 調活・タ	数 50枚 ご部 第二 第二 第二 第二 第二 第二 第二 第二 第二 第二 第二 第二 第二	タス 回収が 回数 ゴ 概保 のの で 課	2,8 N屋の 処理相 上のたて な推進	00袋 設置 3 幾の原 1件 め、て	10枚入 に対して、 第入に対し 講入に対し ない。	5,000袋 補助金を交 額(円) して補助金 額(円)	5付し。 17 全を交 20 に収録	小袋 ました 7,000 (付し (),000 集運搬	50枚 :。 円 ました 円 ・処理	でき	1,7	うに、	日頃の	入:	の減量

成果と 課題

1 ごみ収集日程表を、東伯・赤碕地区から各地区へ変更することで、ごみの出し間違いの減少や分別意識の向上に取り組みました。

【次年度に向けての課題】

1 町全体の家庭ごみの収集量は減少傾向ですが、1人あたりの排出量は増加傾向であり、ごみの減量化、分別について普及啓発を行っていく必要があります。そのため、ごみ袋価格についても検討を行い、適正な価格としていく必要があります。

所管	評価 項目	必要性	妥当性	公平性	有効性	効率性	先駆性 独創性	 住民ニーズ、事業の必要性は。 行政必須か、委託の可能性は。 受益者の偏りはないか。	10,7,3,0 10,7,3,0 5,3,1,0
課の	評価 点	7	10	3	3	1	1	 目標数値は達成できたか。 コスト・人員効率はどうか。 他の見本となりえるか。	5,3,1,0 5,3,1,0 5,3,1,0
評価	合計 点	25	総合 評価	С		ま町の責任 分別をさらに		((:) (() () () () () () () () () () () () (スは委託の検討

		170			<u>- ////////////////////////////////////</u>	<u> </u>			
事業番号 122	事第	Ě名	公共水域	環境保全事			会計区分		一般会計
担当課 町民生	活課			担当係	環境衛生	系	事業区分	□新規	見 ■継続
予算区分 款	4	衛生	費	項	2 清掃	費	Į.	1	じん芥処理費
年度	最終予	P 算額	決算額		事業費	貴財源内訳(千円)		備考
十尺	(千	円)	(千円)	国庫支出金	県支出金	その他収入	起債	一般財源	(その他収入の内訳)
平成29年度	2	2,404	2,327	0	2,327	0	0	0	
平成29年度(明許	=)								
経費の内訳	需用	費16-	千円、役務	費30千円、	委託料2,2	81千円			
活動項目	単位	年		7(実績) 28(実績)		5) 2	29(実績)		回) 31(計画)
			標						
		実			// - - - - //			// - - - - //	
		達原		DIV/0!	#DIV/	0! #	DIV/0!	#DIV/	0! #DIV/0!
			標						
		実達原		1DI\	#DN//	n #	DI\	#DI\//	01 #D#\//01
		连凡	X 华 #	DIV/0!	#DIV/	J! #	DIV/0!	#DIV/	0! #DIV/0!

事業対象沿岸自治体及び海岸清掃委託団体

事業目的

海岸清掃を行い美化を図り沿岸環境、景観を保全します。また、不審な漂着物の早期発見、撤去を行います。

1 海岸沿岸自治会、団体に清掃の委託を行い、海岸漂着物の収集を行いました。

	H26	H27	H28	H29
団体数	17団体	17団体	17団体	17団体
実施回数	53回	55回	54回	54回
可燃ごみ	12.90t	13.78t	18.88t	30.55t
不燃ごみ	13.90t	1.70t	3.20t	2.85t
その他	14.90 m³	30.97m³	6.98 m³	5.01 m³

事業の 主な 実施状況

- 2 ボランティア団体により鳴り石の浜、海水浴場の清掃活動が行われました。
- 3 不審な漂着物、産業廃棄物などの撤去を行いました。



【前年度課題の概要】

1 海岸清掃実施後の廃棄物の収集について、収集運搬業者に対応いただくため、通常のごみ収集 運搬業務の支障になっている場合もあります。

【成果及び前年度課題に対する対応】

成果と 課題 1 各団体へ支払う委託料の計算方法についても見直しを行いました。収集運搬については、収集運搬業者に対応いただくしかないため、収集方法や費用負担も含めて検討を行いました。

【次年度に向けての課題】

1 各団体の清掃の距離、回数、回収量に応じて委託料を支払うこととしたため、実際の状況を確認し、海岸清掃が継続されるよう、必要であれば改善していきます。また、収集運搬についても、改善していく必要があります。

所管	評価 項目	必要性	妥当性	公平性	有効性	効率性	先駆性 独創性	妥当性	住民ニーズ、事業の必要性は。 行政必須か、委託の可能性は。 受益者の偏りはないか。	10,7,3,0 10,7,3,0 5,3,1,0
課の	評価点	7	10	1	3	3	3		目標数値は達成できたか。 コスト・人員効率はどうか。 他の見本となりえるか。	5,3,1,0 5,3,1,0 5,3,1,0
評価	合計 点	27	総合 評価	С	町内海岸(後も継続し	の環境、景 していく必要			であり、今 A:事業拡充 B:現 C:内容の見直しる D:縮小・終期設定	なは委託の検討

	1 774 = -					- 2 1 7 7 9 7 1	, r			
事業番号	121	事業	美名	不法投棄	廃棄物処理	里事業		会計区分		一般会計
担当課	町民生活	課			担当係	環境衛生	系	事業区分	□新規	見 ■継続
予算区分	款	4	衛生	費	項	2 清掃	費		1	じん芥処理費
午	. 度	最終予	算額	決算額		事業費	貴財源内訳(千円)		備考
+	· 支	(千)	円)	(千円)	国庫支出金	県支出金	その他収入	起債	一般財源	(その他収入の内訳)
平成2				29	0	0	0	0	298	
平成29年	平成29年度(明許)									
経費(経費の内訳 報酬254千円、需用			費3千円、委	託料41千	円				
活動	項目	単位	年	度	7(実績) 28(実績) 29			9(実績)	30(計画	回) 31(計画)
				標						
		実績								
	達成率			#DIV/0!	#DIV/	0! #	DIV/0!	#DIV/	0! #DIV/0!	
				標						
				績	"D" / /OI	#P# / /	01 "	DD / /OI	#DD / /	01
			達 月	戊率	#DIV/0!	#DIV/	J! #	DIV/0!	#DIV/	0! #DIV/0!

事業対象 町内全域

事業目的「不法投棄の防止及び早期発見、不法投棄廃棄物を撤去し地域環境の保全、美化を図ります。

1 不法投棄監視員2人が、月2回のパトロールを行い、不法投棄の早期発見を行いました。

地区	監視員	回数	主な不法投棄
東伯地区	1人	24回	加勢蛇川堤防の焼却灰、山林の家庭ごみ・家電・衣類等
赤碕地区	1人	24回	山林の家庭ごみ・タイヤ、海岸の家庭ごみ、ポート赤碕周辺の鞄等

2 不法投棄廃棄物が発見された場合、早期に撤去しました。また、再発防止のために、 看板を設置するとともに、監視カメラを設置し状況の監視を行いました。

事業の 主な 実施状況 設置箇所 設置期間 6箇所 58日間





【前年度課題の概要】

- 1 近年大規模な不法投棄事案はありませんが、農業系の廃棄物の不法投棄、また不法野焼きが目立つ為、関係課や県、警察などと連携していきます。
- 2 現在、監視カメラ1台で、不法投棄の注意箇所に随時設置していますが、継ぎ目の無い監視を行う上で監視カメラの台数が不足しています。

【成果及び前年度課題に対する対応】

成果と 課題

- 1 農業系の野焼き等の苦情に対しては、関係課と協力しながら指導等行いました。
- 2 監視カメラ1台を用いて、場所や設置位置など検討しながら、不法投棄の監視を行いました。

【次年度に向けての課題】

- 1 不法投棄をなくすため、監視とともに啓発を行っていく必要があります。
- 2 監視カメラなどを効率的に運用し、不法投棄の検視を続けていく必要があります。

	近 管	評価 項目	必要性	妥当性	公平性	有効性	効率性	先駆性 独創性	妥当性 公平性	住民ニーズ、事業の必要 行政必須か、委託の可能 受益者の偏りはないか。	性は。 10,7,3,0 5,3,1,0
(课 の	評価点	7	10	1	3	3	1	有効性 効率性 先駆性・独創性	目標数値は達成できたか コスト・人員効率はどうか。 他の見本となりえるか。	* 0,0,1,0
	评	合計	25	総合 評価	В		は未だに事 且む必要が		しており、糺		な充 B:現状維持 D見直し又は委託の検討 終期設定 E:休止・廃止

事業番号 123	事業名	し尿処理対	付策			会計区分		一般会計
担当課 町民生活	課		担当係	環境衛生	係	事業区分	□新規	見 ■継続
予算区分 款	4 衛生	費	項	2 清掃	費	E	2	し尿処理費
年度	最終予算額	決算額		事業領	貴財源内訳((千円)		備考
千茂	(千円)	(千円)	国庫支出金	県支出金	その他収入	起債	一般財源	(その他収入の内訳)
平成29年度	27,552	27,492	0	0	0	0	27,492	
平成29年度(明許)								
経費の内訳	需用費35	千円、ふる	さと広域連	合負担金(し尿処理)	27,457千円		
活動項目			7(実績) 28(実績) 2		5) 2	9(実績)	30(計画	回) 31(計画)
		標						
		績						
			:DIV/0!	#DIV/	0! #	DIV/0!	#DIV/	0! #DIV/0!
目標								
		績	- n / / o i			/ / O	// - /	01
達成率 #		:DIV/0!	#DIV/	0! #	DIV/0!	#DIV/	0! #DIV/0!	

事業対象 琴浦町住民、事業所(下水道整備が済んでいない地区等)

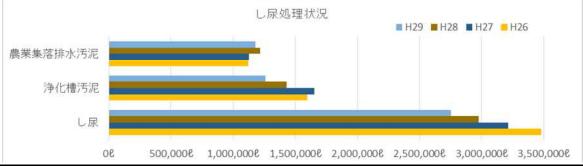
事業目的し尿の適正処理を実施し、生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図ります。

1 鳥取中部ふるさと広域連合の処理施設(クリーンセンター)で、汲み取ったし尿、浄化槽汚泥を一括処理するための経費を負担しました。

し尿等回収量

	H26	H27	H28	H29
し尿	3,480,7042	3,215,6902	2,974,890l	2,751,640l
浄化槽汚泥	1,596,2002	1,651,6602	1,430,950l	1,261,250l
農業集落排水汚泥	1,122,7500	1,128,4200	1,218,4200	1,177,7200

事業の 主な 実施状況



【前年度課題の概要】

- 1 琴浦町の下水道整備は平成32年度完成予定であり、クリーンセンターの設備の老朽化により新設も検討されており、必用最小限度の施設となるよう、下水道への接続を促進する必要があります。
- 2 下水道整備終了後は、接続促進による下水道事業の収支改善のため、下水道所管課がし尿処理の事務も行う必要があります。

【成果及び前年度課題に対する対応】

成果と 課題

- 1 下水道整備に伴い下水道への接続が進み、回収量は順調に減少してきています。
- 2 引き続き、下水道整備完了を見据えながら、関係課と協議を進めます。

【次年度に向けての課題】

1 下水道接続や合併浄化槽設置への啓発を行い、下水処理人口を増加させていく必要があります。

所管	評価 項目	必要性	妥当性	公平性	有効性	効率性	先駆性 独創性	妥当性 公平性	住民ニーズ、事業 行政必須か、委託 受益者の偏りはな	Eの可能性は。 いか。	10,7,3,0 10,7,3,0 5,3,1,0
課の	評価点	7	10	3	3	3	1		目標数値は達成で コスト・人員効率に 他の見本となりえ	まどうか 。	5,3,1,0 5,3,1,0 5,3,1,0
評価	合計 点	27	総合 評価	В	町民の生活	活環境保全 あります。	きのため、糸	継続して事業		A:事業拡充 B:現 C:内容の見直しる D:縮小・終期設定	スは委託の検討

			774			- 21477421	, <u> </u>	7 7	<u> </u>	
事業番号	1169	事業	Ě名	国県返納	金			会計区分		一般会計
担当課	町民生活				担当係	保険係		事業区分	□新規	見 ■継続
予算区分	款	12	諸支	出金	項	1 諸費			1	国県支出金返納金
年	:度	最終予	5算額	決算額	事業費財源内訳 (千円)		備考
-+	· 及	(千)	円)	(千円)	国庫支出金	県支出金	その他収入	起債	一般財源	(その他収入の内訳)
平成29年度 1,013		1,012	0	0	0	0	1,012			
平成29年	平成29年度(明許)									
経費(経費の内訳 償還金、利子及び			利子及び	割引料 1,0	12千円				
活動	項目	単位	年	度 2	27(実績)	28(実績) 28(実績) 29		29(実績) 30		回) 31(計画)
				標						
		実績								
			DIV/0!	#DIV/0	0! #	#DIV/0! #		0! #DIV/0!		
				標						
				績	(D.D. / /OL	#DD 1 //	21 //	DD / /OL	#DD / /	01
	-		建	戊率 #	DIV/0!	#DIV/0	J! #	DIV/0!	#DIV/	0! #DIV/0!

事業対象 国

事業目的

平成28年度自立支援医療事業と未熟児養育医療国庫負担金の交付申請額と実績額との差額を次年度 予算で精算するものです。

① 平成28年度の事業実績に基づき、次のとおり国庫負担金の返還を行いました。

平成28年度未熟児養育医療

(単位:円)

	交付申請額	実績額	返納額
未熟児医療	150,900	5,504	145,396

事業の 主な 実施状況 平成28年度自立支援医療事業

(単位:円)

	交付申請額	実績額	返納額
育成医療返納分	600,000	228,733	371,267
更正医療返納分	9,927,000	9,779,593	147,407
療養介護医療返納分	4,302,000	3,953,814	348,186

【前年度課題の概要】

① 法律に基づいた事業であり大きな課題はありませんが、引き続き適切な事業実施に努めていく必要があります。

【成果及び前年度課題に対する対応】

成果と 課題 ① 法律に基づき適切に事務を行うよう努めました。

【次年度に向けての課題】

① 次年度も引き続き、法律に基づき適切な事務を行うよう心掛けます。

	評価						先駆性	必要性	住民ニーズ、事業	美の必要性は。	10,7,3,0
所		必要性	妥当性	公平性	有効性			妥当性	行政必須か、委託	その可能性は。	10,7,3,0
管	項目						独創性	公平性	受益者の偏りはな	よいか 。	5,3,1,0
課	評価							有効性	目標数値は達成		5,3,1,0
	_	7	7	3	3	3	3 力 対率性 コスト・人員効率はどうか。		まどうか 。	5,3,1,0	
<u>の</u>	点							先駆性·独創性	他の見本となりえ	.るか。	5,3,1,0
評価	合計	24	総合	В	A:事業拡充 B:現状維持 法定の事業のため、現状維持とします。 A:事業拡充 B:現状維持 C:内容の見直し又は委託の検討						
1Ш	点	24	評価	Ь							

	1 /20			· / [7 / 7 7]	<u> </u>	<u> </u>		
事業番号						建康保険特別会計		
担当課 町民生活	果		担当係	保険係		事業区分	□新規	見 ■継続
予算区分 款	2 保険	給付費	項					
左	最終予算額 決算額		事業費財源内訳((千円)		備考
年度	(千円)	(千円)	国庫支出金	県支出金	その他収入	起債	一般財源	(その他収入の内訳)
								前期高齢者交付金
								740,871千円
								療養給付費等交付金
								29,582千円
								繰入金
								基盤安定 69,487千円
平成29年度	1,620,466	1,604,720	347,465	61,834	881,738	0	313,683	出産育児 2,800千円
		, , ,						財政安定化 26,825千円
								法定外 4,638千円
								延滞金 3,924千円
								第三者納付金 341千円
								返納金 3,230千円
								雑入 40千円
₩# 0 ±=	<u> 4</u> П Л	₩ ₩ ∧ ₽ •	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	1 00 1 700 7	- m		_	
経費の内訳 負担金、補助金及			人父 付金	1,604,720-	FH)			

事業対象 国民健康保険被保険者、鳥取県国民健康保険団体連合会

事業目的 被保険者に対して、必要な医療を安心して受けていただくことを目的とします。

① 国民健康保険の被保険者に対して次のとおり保険給付を行いました(審査支払手数料を除く)。

平均被保険者数 一般:4,379人 退職:91人

(単位:千円)

給付種別	内容	区分	件数	支払額
療養給付費	医療費から被保険者の自己負担を除いた部分を保	一般	72,141	1,349,158
凉食帕门貝	険給付しました。	退職	1,317	22,456
療養費	補装具、柔道整復、はり・きゅう・あんま、マッサージ	一般	675	4,417
凉发貝	等に関する保険給付を行いました。	退職	6	33
高額療養費	1ヶ月に支払った医療費が一定の限度額を超えた分	一般	3,459	216,727
问识尔及其	を保険給付しました。	退職	26	2,558
高額介護合算	1年間に支払った医療費と介護サービス費が一定	一般	6	252
療養費	の限度額を超えた分を保険給付しました。	退職	1	52
出産育児一時金	被保険者が出産したときの費用を支払いました(最大 万円/件)。	(42	10	4,200
葬祭費	被保険者が死亡したときに喪主に支給しました(2万 件)。	円/	29	580
移送費	医師の指示により移送された際の費用を保険給付するもので	です。	0	0
審査支払手数料	鳥取県国保連合会ヘレセプト処理手数料として払いま	した。	80,846	4,287

事業の 主な 実施状況

② 給付の未申請者に対して次のとおり勧奨を行いました。

高額療養費	1,138件
高額介護合算療養費	6件
葬祭費	2件

※高額療養費は2ヶ月毎に定期的に実施

③ 被保険者数の推移について

人口減少に伴い、国保の被保険者数も減少が続いています。その一方で、65歳以上の高齢者が被保険者全体に占める割合は増加しています。また、近年の社会保険の基準緩和の影響のせいか、町人口に占める国保被保険者の割合も減少しています。

年度	町人口	国保被保险	食者数(人)	高齢者率	国保加入率
十戊	(人)	全体	65歳以上	(%)	(%)
H25	18,508	5,286	2,074	39.2%	28.6%
H26	18,315	5,047	2,171	43.0%	27.6%
H27	18,055	4,784	2,133	44.6%	26.5%
H28	17,870	4,525	2,089	46.2%	25.3%
H29	17,653	4,355	2,061	47.3%	24.7%

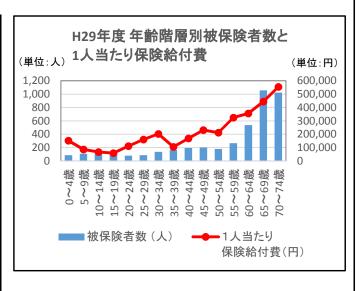
※被保険者数、町人口は各年度3月31日現在です。

		1 77	,	·	7 7 7 7	7 T T T T T T T T T T T T T T T T T T T	711	<u> </u>		_		
事業番号		事業名	保険給付	費			会計	区分	玉]民健	康保険	特別会計
担当課	町民生活語	果		担当係	保険	係	事業	区分]新規	見	■継続
予算区分	款	2 保険	能付費	項				E				

④ 年齢階層別の被保険者数と1人当たり保険給付費について

年齢階層別の被保険者数は、全体の約半数を65歳以上の高齢者が占めています。また、1人当たり保険給付費については多少のばらつきはありますが、年齢階層が上がるごとに保険給付費も上昇する傾向にあるといえます。

年齢階層	被保険者数	1人当たり
一面山田一	(人)	保険給付費(円)
0~4歳	86	151,562
5~9歳	108	86,152
10~14歳	107	67,004
15~19歳	129	59,084
20~24歳	78	110,899
25~29歳	87	160,067
30~34歳	136	202,041
35~39歳	166	105,402
40~44歳	195	168,968
45~49歳	202	230,706
50~54歳	180	211,429
55~59歳	266	325,195
60~64歳	537	356,128
65~69歳	1,056	443,940
70~74歳	1,022	554,316
合計	4,355	



※被保険者数はH30年3月31日現在、1人当たり保険給付費はH29年度の各年齢階層の平均値です。

⑤ 1人当たり保険給付費の推移について

1人当たり保険給付費の推移を見てみると、全体的に年々増加傾向にあります。これは、1人当たり保険給付費の高い高齢者が被保険者全体に占める割合が増してきたことが大きな原因と考えられます。

1人当たり 保険給付費(円)
276,534
296,920
286,215
293,039
301,372
325,940
332,169
351,208



【前年度課題の概要】

① 主に法定の事業に要する義務的経費のため目立った課題は見当たりませんが、適切な事業執行ができるよう、常に課題意識を持って取り組む必要があります。

【成果及び前年度課題に対する対応】

成果と 課題

事業の 主な 実施状況

- ① 各種医療給付について資格確認や給付内容の確認を行い、給付の適正化を図りました。
- ② 高額療養費等の未申請者に対して勧奨を行い、未支給を減らすよう心掛けました。

【次年度に向けての課題】

前年度に引き続き、適切な医療給付を行えるよう取り組んでいきます。

	評価						先駆性	必要性	住民ニーズ、事業の必要性は。	10,7,3,0
所		必要性	妥当性	公平性	有効性	効率性	独創性	妥当性	行政必須か、委託の可能性は。	10,7,3,0
管	項目						独剧江	公平性	受益者の偏りはないか。	5,3,1,0
課	評価							有効性	目標数値は達成できたか。	5,3,1,0
の		10	10	1	3	3	0	効率性	コスト・人員効率はどうか。	5,3,1,0
-	点							先駆性·独創性	他の見本となりえるか。	5,3,1,0
評価	合計占	27	総合評価	В		療給付であ		建康保持に- :持としました		スは委託の検討

事業番号			事第	₹ <u>成</u> 業名	保健	事業	 費		説		会計	区分	国		康保	険特別3	会計
担当課	町民:	生活語	果				担当係	保険係			事業	区分		新規		■糸	
予算区分	款	次					項					Ē	1				
年	度			7算額		算額		事業費	貴財源「	为訳 (千円)					備考	
	· IX		(千	円)	(千円)		国庫支出金	県支出金	その他収力		起債		一般財源		(その他収入の内部)内訳)
平成29年度 14,		4,533	13	3,305	2,412	3,181		580		0	7,1	32		給与等繰入548千円 金 32千円			
経費0	の内訳		賃金	金 89	7千円	1、報	償費 100-	千円、需用	費 29	90千P	9、役	務費	489千月	円、	委託	料11,529	千円
活動	項目		単位		度	2	7(実績)	28(実績	責)	2	9(実績	()	30(計画)	31(計	画)
寺定健康	診査等	受診			標		55%	60%			60%	,	6	0%		60)%
· () () () () () () () () () () () () ()		- 11/	%			3	38.70%	34.309	%	3	32.60% 54%	Ď		1 0/		01	1/
L	. عد ما ا	- 14-			標		70% 55%	57% 60%			60%			0% 0%		09 60	
定保健技	指導医	ミ施	%		 		21%	33.80	%	5	0.40%	Ó		<u> </u>			.,,
<u> </u>				達用	戊率		38%	56%			84%		C)%		0	%
		療費の	増加	lを抑	制し、	保険	他町民(エーサー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	≧化を図る	ことを	目的と			実施し	まし			
事業対象 事業目的 	医卵	療費の 増え	送続け	lを抑 [・] る医	制し、	保険	財政の安定	三化を図る。 図るため、	ことを	目的と						位:千円支払額	
	医卵	療費の 増え	増加	lを抑 [・] る医	制し、療費の	保険	財政の安定のな抑制を	E化を図る。 図るため、 内容	ことを	目的と	保健哥	事業を	実	淫績	(単	位 : 千円 支払額	_
	医物	療費の増え	を続け	lを抑 [†] る医	制し、 療費(12月	保険 の適り	財政の安定	E化を図る。 図るため、 内容 赤碕中で中	ことを 次のと	目的を	保健事	事業を		<mark>淫績</mark> 159	(単 人	支払額	[
	医缩	療費の 増え	を続け	lを抑 [†] る医	制し、 療費(12月 1月3	保険 の適ち 17日)を対	財政の安定のな抑制を回な抑制を回じませた。	三化を図る。 図るため、 内容 赤碕中で中 教育講演:	ことを 次のと 中学3: 会を行	目的 d :おり(年生(fいま	保健 (及び した。	保護	生徒	<mark>績</mark> 159 護者	(単 人 ·等)	支払額	
	医缩	療費の 増え エイス	を続け	lを抑 る医 ら ち ち ち	制 療 12等 1配 保	保険 の適切 17日()を対 3日まし 証更!	財政の安定のお押制を回ります。	E化を図る。 図るため、 内容 赤碕育講演: エイズ予防	ことを 次のと 中学3: 会を行	目的さ	保健等した。	事業を <mark>供護</mark> 小を	集 生徒 他(保) 新成人 2,63	<mark>:績</mark> 159 護者 、15	(単 人 等) 7人	支払額	<u> </u>
事業目的	医物	療費の 増え インエ発 ジェイ	り増加 た続け 本業名	である。	制療 12 青 1 配 保シー	保 (保) (国) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1	財政の安定のお押制を回り、「東自中、集とした性」が、また。	E化を図る。 図るため、 内容 赤碕中で中 教育講演: エイズ予防・	ことを次のと 学3: 中学3: 各発の	目的 d	保健 ひした。	事業を 保護 小を 、・	集 生徒 他(保) 新成人	<mark>:績</mark> 159 護者 、15	(単 人 等) 7人	支払額 1 ⁻	13
事業目的	医物	療費の 増え インエ発 ジェイ	り増加 た続け 本業名	である	制療 12 青 1 配 保シー	保険 7 を 日ま 更 1 フを 日ま 更 1 フェース 1	財政の安定のな抑制を回りな抑制を回ります。またのでは、またのでは、たい時にしたでは、たいでは、たいでは、たいでは、たいでは、たいでは、たいでは、たいでは、た	E化を図る。 図るため、 内容 赤碕中で中 教育講演: エイズ予防・	ことを次のと 学3: 中学3: 各発の	目的 d	保健 ひした。	事業を 保護 小を 、・	集 生徒 他(保) 新成人 2,63	2 <mark>績</mark> 159 護者 、15 1世神	(単 人 等) 7人 帯 新時	支払額 1 ⁻	<u> </u>
事業目的	医卵	療費の 増え インエ発 ジェイ	り増加を続け 業名 できる ひょう	を抑える医	制療 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	保 (保) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1	財政の安定のな抑制を回りな抑制を回ります。またのでは、またのでは、たい時にしたでは、たいでは、たいでは、たいでは、たいでは、たいでは、たいでは、たいでは、た	E化を図る。 図るため、 内容 赤育講演: エイズ・リックに こ。 ・ 額通知を対	ことを 次のと 学会 発 薬 湯 寒 湯	目的と	保健・	展業を	集 生徒 他(保i 新成人 2,63 ※定期	2 159 護 15 1世 1世 740.	(単 人等) 7人 新時 人	支払額 1 ⁻ 28	13
事業目的	医瘤	療費の 増え インエ発 ジ薬	り増加 た続け 素々 予 以 ツック 東 通	からというない。	制療 1者1配保シジた医心特に 2等月布険 1年療を定	保 の 1)3 日証ルト4 費促健康 1分のします。 1分	財政の安定の安定を対している。対象を対している。対象を対している。のでは、対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対	全化を図る。 図るため、 内容 赤育育予防 エイズ・リックに 三、 三、 三、 会ケ月習慣 、生活習慣	ことを 次 学を発 薬 象 療 ()。	目的とまりいる希望に対している。	保健・グレナン・フレック・フレック・フレック・フレック・フレック・フレック・フレック・ファン・ファン・ファン・ファン・ファン・ファン・ファン・ファン・ファン・ファン		実 生徒(保) 新成人 2,63 ※定 延べ 延べるが	2績 159 護 15 1世 740 343† 06人	(単 人等) 7人 新時 人 帯	支払額 1 ⁻ 28	31
事業目的	医卵	療 増 オ ブ エ発 ・	り増加 たん 大学 で は 一 大学 で は 一 大学 で から で は 一 大学 で は こ	から か	制療 1者1配保シジた医心特の特し、費 5等13布険 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	保 の 7を日ま 更を ツ回 通し 康を 診 (日対 のし) 更 の (日対 のし) で (日	財政の安定の安定の安定の大阪の安定である。 は、またのでは、おいまでは、おいまでは、おいまでは、おいまでは、おいまでは、おいまでは、おいまでは、おいまでは、おいまでは、おいまでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	E化を図る、 図るため、 内碕育講予 レイネリックで ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	ことを 次 学を発 薬 象 医 病 病 の の	目おりなり、生まれる。 第一条 一条 一	保健・グレック・プログランク・プログランク・プログランク・プログランク・プログラング・ファイン・プログラン・プログラン・プログラン・スティー・スティー・スティー・スティー・スティー・スティー・スティー・スティー	な 保 か い 関 企	実 生徒(保) 新成人 2,63 ※定期 延べ6,3 で 1,20 受診率	[[] [] [] [] [] [] [] [] [] [人等) 7人 带 人 世帯 6%	支払額 1 ⁻¹ 28 54 8,8 ⁻¹	31

① 1人当たり医療費が増加し続けていることから、様々な視点から医療費適正化に向けて取り組んでいく必要があります。

【成果及び前年度課題に対する対応】

成果と 課題

- ① 平成28年度から2年連続して特定健診の受診率が低下しています。
- ② 特定保健指導の実施率は昨年度から大幅に上昇しました。これは、集団セット検診会場で初回面談や利用勧奨に取り組んだ結果だと思われます。

【次年度に向けての課題】

① 増え続ける医療費の問題を根本から解決するためには定期的な健診等による病気の早期発見・早期治療が必要です。特定健診の受診率向上に向けて、引き続き関係部署と連携して取り組みます。

所	評価 項目	必要性	妥当性	公平性	有効性	効率性	先駆性 独創性	妥当性	住民ニーズ、事業行政必須か、委託	托の可能性は。	10,7,3,0 10,7,3,0
管	火口						加加加工	公平性	受益者の偏りはな	ないか。	5,3,1,0
課	評価							有効性	目標数値は達成	できたか。	5,3,1,0
の	_	7	7	1	1	3	0	効率性	コスト・人員効率		5,3,1,0
	点							先駆性·独創性	他の見本となりえ	Lるか。	5,3,1,0
評価	合計占	19	総合評価	В	被保険する。		持と医療費と考えませ	費の増加抑 ₩雑共としま	制のたまた	A:事業拡充 B:現 C:内容の見直しる	スは委託の検討

			و بسرا ا		1	トロレフ」目	へノツィア	•	 		1 12~			
等別会計	建康保険特別会	区分	会計区		業	する	保に関する	その他国	業名	事		事業番号		
■継続	見 ■継	□新規		区分	事業区		険係	系	担当係			課	町民生活	担当課
			3	E					項				款	予算区分
備考	備考		千円)			事業費財源内訳 (最終予算額 決算額			- 度	年
他収入の内訳)	(その他収入の	財源	一般	責	起債	その他収入	東支出金	出金	国庫支出金	(千円)	円)	(千	- 文	+
付費等交付金	療養給付費等交	H												
2,722千円	2,72													
	高額医療費共同 交付金 66,806=													
	保険財政共同安置 業交付金 492,52	1 3471	120	0		617,405	40,078	501	148,50	926,329	3,600	93	29年度	平成2
与等繰入	職員給与等繰力	J												
22,073千円	22,0													
三繰入31,016千円	基盤安定繰入31,0	ā												
2,265千円	延滞金 2,265	3												
:及び交付金	補助金及び交					円、共済費 31,832千円							の内訳	経費の
	交付金保険財政 職員給基盤 宏流金),345]] 旦金、礼]、負担	7千円	1,647	】 】 】 , 共済費	3,759千F	当等	職員手当等	364千円、1	料 6,	給		

事業対象 国民健康保険被保険者、職員等、諸団体

事業目的 国民健康保険事業の円滑な運営を図ることを目的とします。

① 保険給付、保健事業以外に、国民健康保険の円滑な運営のため、次のとおり事業を実施しました。

(単位:千円)

事業の
主な
実施状況

	(中	位:十円)
事業名	内容	支払額
一般管理費	正規職員2名、臨時職員1名、レセプト点検員等の給与・賃金を支払いました。	14,427
双日垤貝	国保連合会への各種手数料等の事務経費を支払いました。	7,614
運営協議会費	国保運営協議会を2回(11月、2月)開催しました。	33
後期高齢者支 援金等	後期高齢者医療(主に75歳以上の人が加入する医療保険)の財源 として、診療報酬支払基金へ支援金を支払いました。	245,081
前期高齢者納 付金等	保険者間の前期高齢者(65歳~74歳の人)医療費負担の平準化のため、 診療報酬支払基金へ納付金を支払いました。支払った納付金は再分配され、前期高齢者交付金として交付されました(740,831千円)。	918
老人保健拠出金	老人保健に関する事務費として診療報酬支払基金へ支払いました。	6
介護納付金	介護保険の財源として、被保険者の納めた保険税(うち介護分)等を 基に診療報酬支払基金へ支払いました。	90,704
高額医療費共 同事業拠出金	県内市町村間の医療費水準を平準化するため、一定の条件を満た した医療費を持ち寄り再分配する共同事業を行いました。	54,820
保険財政共同安 定化事業拠出金	※拠出金を国保連合会にいったん支出し、再分配したものを交付金 として受け取ります。	480,893
諸支出金	保険税が過誤納となったときの還付金・還付加算金を支払いました。	1,983
四人山亚	前年度以前の国庫支出金等を返還しました。	29,850

【前年度課題の概要】

① 主に法定の事業に要する義務的経費のため目立った課題は見当たりませんが、適切な事業執行ができるよう、常に課題意識を持って取り組む必要があります。

【成果及び前年度課題に対する対応】

成果と 課題

- ① 事業の多くが法定の義務的な事業のため、適切な予算管理、事業執行に取り組みました。
- ② 消耗品、通信運搬費等の事務経費は必要最小限に抑えました。

【次年度に向けての課題】

① 平成30年度より国保の運営が従来の市町村単位から県単位となることから、県に移管される事業や廃止となる事業、新たに生まれる事業等、内容に大きな変化が生じます。新たな事業についても安定した事業運営を心掛けます。

所管	[7]	評価 項目	必要性	妥当性	公平性	有効性	効率性	先駆性 独創性	必要性 妥当性 公平性	住民ニーズ、事業 行政必須か、委請 受益者の偏りはな	10,7,3,0 10,7,3,0 5,3,1,0		
i	課 の	評価 点	7	7	1	3	3	0	有効性 効率性 先駆性・独創性	目標数値は達成 コスト・人員効率! 他の見本となりえ	はどうか。	5,3,1,0 5,3,1,0 5,3,1,0	
評価		合計 点	21	総合 評価	В	平成30年度より大幅な制度改正が行われますが、A事業拡充 B現状総 Ct内容の見直L又は記 法定の事業という意味で現状維持としました。 D縮小・終期設定 Est							

		<u>/%</u>)		<u> </u>	<u> </u>	<u> Н/С-/,</u>	<u>, </u>	<u> </u>		<u> </u>			
事業番号	事業	業名	後期高齢	者医療					会計	区分	後期高		齢者医療特別会計	
担当課 町民生活課			担当係	保険係				事業区分 □ 割		コ新規	規 ■継続			
予算区分 款			項											
年度	最終予算額 決算額 (千円) (千円)		事業費財源内訳 ((千円)				備考			
十段			(千円)	国庫支出金	県支	県支出金 その他収入		収入	起債		一般財源		(その他収入の内訳)	
平成29年度	209	9,116	207,429	0		0 64,783		0		142	2,646	繰入金 63,939千円 延滞金 201千円 保険料還付金610千 円		
平成29年度(明許)													還付加算金33千円	
経費の内訳	負担	旦金、	補助及び	交付金 20	5,549·	千円	その	他	1,880	千円				
活動項目	単位	年	度	27(実績)	28(実績) 2		29(実績)		()	30(計画)		<u> </u>	31(計画)	
			標											
			績											
				#DIV/0!	#	#DIV/0! #		#DIV/0!		#DIV/0		0!	#DIV/0!	
			標											
			績 戊率	#DIV/0!	#	#DIV/0! i		#DIV/0!		0! #DIV/		DIV/	0!	#DIV/0!
事業対象 後期 三齢 考 医療 神 保 除 考														

事業対象 │ 後期高齢者医療被保険者

事業目的

後期高齢者医療制度を円滑に運営します。

- ① 後期高齢者医療の被保険者に対して、保険証等の交付を行いました。 琴浦町後期高齢者医療被保険者数 3,490人(平成30年3月末時点) 定期更新 3,491人(8月1日時点) 新規年齢到達者数 256人(平成29年5月~平成30年4月年齢到達者)
- ② 低所得者への保険料軽減分を保険基盤安定制度分として、後期高齢者医療広域連合へ納付しました。 内訳(平成29年10月20日時点)

事業の 主な 実施状況

区分	対象者数(人)	軽減額(円)
7割軽減(9割、8.5割軽減)	1,635	47,181,120
5割軽減	412	8,522,550
2割軽減	260	2,159,400
旧被扶養者5割軽減(7割軽減)	233	4,839,180

軽減額のうち3/4は県負担

【前年度課題の概要】

① 法律に基づいた事業であり大きな課題はありませんが、引き続き適切な事業実施に努めてい く必要があります。

【成果及び前年度課題に対する対応】

成果と 課題

① 被保険者証の発送、保険料の取り扱いなど円滑に業務を行うことに努めました。

【次年度に向けての課題】

(1) 次年度も引き続き、法律に基づき適切な事務を行うよう心掛けます。

所管	評価 項目	必要性	妥当性	公平性	有効性	効率性	先駆性 独創性			10,7,3,0 10,7,3,0 5,3,1,0			
課の	評価点	10	10	3	3	3	1	有効性 効率性	目標数値は達成できたか。 コスト・人員効率はどうか。 他の見本となりえるか。	5,3,1,0 5,3,1,0 5,3,1,0 5.3.1.0			
評価	合計 点	30	総合 評価	В		後期高齢者医療制度を円滑に運営するため継続が A本事維充 B:現状 C:内容の見直し又に 必要な事業です。 D縮小・終期設定							